

第七十四回 帝國議會 明治三十五年法律第四十九號中
改正法律案(國勢調査ニ關スル件) 委員會議錄(速記)第四回

付託議案
明治三十五年法律第四十九號中改
(政府提出、貴族院送付)
恩給法中改正法律案(政府提出)

昭和十四年三月九日(木曜日)午後一時四十
分開議

出席委員左ノ如シ

委員長

高橋 泰雄君

理事西田

郁平君 理事中野 治介君

齋藤 直橘君 一ノ瀬俊民君

山崎 常吉君 塚本 重藏君

出席政府委員左ノ如シ

内閣恩給局長 平木 弘君

法制局參事官 樋貝 誠三君

厚生省社會局長 新居善太郎君

傷兵保護院計畫局長 藤原 孝夫君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

海軍中佐 川崎 進君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案(政府提出)

○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス、前會ニ續イテ恩給法中改正法律案ノ質疑ヲ續行致シマス

○塚本委員 此ノ際御許ヲ得マシテ少シ質

問ヲ致シタイト思ヒマスガ、先づ最初ニ、

改正ニナリマシタ「戰地外ニ在リテ航空部

隊ニ屬シ航空基地ニ於テ特殊ノ戰務ニ服シタルトキ」トアリマスガ、此ノ「特殊ノ戰務」ト云フコトヲモウ少シ詳シク説明ヲシテ戴キタイト思ヒマス

○樋貝政府委員 此ノ點ニ關シマシテハ、只今海軍ノ川崎中佐ガ見エテ居リマスカラ、川崎中佐カラ具體的ニ其ノ内容、及ビソレニ關聯シマシテノ今回ニ於ケル所謂渡洋爆擊ナドノ實況ニ付キマシテ、御説明ヲ申上

ゲタ方ガ早イカト思ヒマス、委員長ノ御許ヲ得マシタナラバ川崎中佐カラソレヲ御説

明申上ダグタイト思ヒマス

○塚本委員 結構デス

○樋貝政府委員 尚ホ是ハ軍ノ機密ニ亘ルカモ知レマセヌノデ、關係官及ビ議員ノ方

以外ノ方ガ若シオ居デニナツタラ、退席ヲ求メタイト云フコトデアリマス

○高橋委員長 ソレデハ是ヨリ祕密會ニ入

〔午後一時四十五分祕密會ニ入ル〕

斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ

大體時期ヲ同ジクシタラ宜イデヤナイカ、

カモ知レマセヌノデ、關係官及ビ議員ノ方

以外ノ方ガ若シオ居デニナツタラ、退席ヲ

レルコトニナツテ居リマス、ソレハ大體戰

時ニ適用サレル譯デアリマスカラ、ソレト

斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ

大體時期ヲ同ジクシタラ宜イデヤナイカ、

○平木政府委員 是ハ大體勅令デ規定スルコトニナツテ居リマシテ、マダ確定的ナコトハ申上ダグ兼ネルノデアリマスガ、大體ノ考ト致シマシテハ、此ノ事變ニ際シマシテ

コトニナツテ居リマシテ、マダ確定的ナコトハ申上ダグ兼ネルノデアリマスガ、大體ノ考ト致シマシテ、此ノ事變ニ際シマシテ

○塚本委員 ソレデハ特殊ノ戰務ト云フコトハ其ノ程度ニ諒解致シマシテ、モウ一ツハ、第五十九條ニ新シク一項ヲ加ヘラレマキタ條文ノ中ニアリマス「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フノハ、是ハ先程一定ノ條件ヲ附シテト云フ御説明ヲ承ツタノデアリマスガ、此ノ一定ノ條件ト云フモノヲモウ少シ御説明願ヒタイト思ヒマス

○塚本委員 直接改正ノ法文ニ付キマスル質疑ハ此ノ程度ニ止ヌマスガ、此ノ際恩給法ノ全般ニ付テ少シバカリ御伺シタイト思ヒマス、先日齋藤委員カラモ、恩給法ヲ根本的ニ改正スル意思ハナイカト云フ質疑ガアリマシテ、今ノ場合考ヘテ居ラナイト云フ御答辯デアリマシタガ、是ハ漸次恩給法ノ適用ヲ受クルベキ範圍ヲ擴メテ置クコトガ必要デハナイカト私ハ思フノデアリマス、ノ適用ヲ受クルベキ範圍ヲ擴メテ置クコトガ必要デハナイカト私ハ思フノデアリマス、

ノ適用ヲ受クルベキ範圍ヲ擴メテ置クコトガ必要デハナイカト私ハ思フノデアリマス、

意味デ恩給法ニ依ツテ國民ノ大多數ヲ恩惠ニ浴セシメルト云フヤウナ風ニ、漸次進メテ行クコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス、ソコデ差當リ今度ノ戰爭ニ依ツテ考ヘラレマスコトハ、澤山ナ軍屬ガ戰地ニ參ツテ居リマスガ、是等ノ者ト恩給法トノ關係ガドウナツテ居ルカ、之ヲ一應御伺致シマス。

○總貿政府委員 恩給法ノ根本改正ト云フ御趣旨ガ、過日ノ御質問ノ時ニモ實ハ私等ノ方ニハツキリ致シマセヌデシタガ、文字ノ傳ヘル意味其ノ儘ニ取りマシテ、兎ニ角大キナ改正ト云フヤウナコトニ諒解致シタ譯デアツタノデアリマスガ、御趣旨ノヤウニ恩給ノヤウナ制度ハ廣く行クノガ適當ダト云フコトハ確ニ考ヘラレマスノデ、獨リ官吏、或ハ軍人ト云フモノニ限ラズ、所謂民間ノ人ニ付テモ斯ウ云フ制度ガ發達スルコトガ宜クハナイカト云フコトガ考ヘラレマス、唯サウ云フ民間ノ方ノ恩給ニ付キマシテハ、是ハドチラカト申セバ民間デ人ヲ使ツテ居ル者ノ方デ考フベキコトニ屬スルノデハナイカト思ツテ居リマス、丁度國家ガ使ツテ居ル官吏ヤ、又國家ノ爲ニ戰ニ從事シテ居ル軍人ニ付テ恩給制度ガアルヤウナ工合ニ、民間ノ團體、例ヘバ會社ナラ會社員

ト云フヤウナモノニ對シマシテハ、會社デ恩給制度ト云フヤウナモノヲ考フベキデハナイカト思ヒマス、サウ云フ風ナ特別ナ團體ニ屬セナイ分散シタ人々ニ對シテ、更ニ斯ウ云フヤウナ方法ヲ何カ考フベキデハナイカト云フコトガ第二ニ考ヘラルベキコトダト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ、付キマシテハ、民間會社ナドニ於キマシテモ、或ハ一時金デ退職手當ト云フヤウナ名ノ下ニ、或ハ又場所ニ依リマシテハ年金的ノ制度ヲ認メルト云フヤウナコトモアリマス、又官廳ナドノ方面ニ於キマシテモ正式ノ官吏ト云フモノデナイ、併シナガラ國ノ仕事ニ從事シテ居ルト云フ職工ダトカ、或ハ所謂雇員ツタノデアリマスガ、御趣旨ノヤウニ恩給ノヤウナ制度ハ廣く行クノガ適當ダト云フコトハ確ニ考ヘラレマスノデ、獨リ官吏、或ハ軍人ト云フモノニ限ラズ、所謂民間ノ人ニ付テモ斯ウ云フ制度ガ發達スルコトガ考慮ニ入レラレテ、諸種ノ給與ナドニ影響シテ參ツタヤウナ譯デ、勿論根本ノ制度トシテ多數ニ及ボスト云フコトニ付キマシテハ、獨リサウ云フ所謂恩給バカリデハ片付カナイ部分ガ相當ニアルカト思ツテ居リマリト致シマシテサウ云フ所マデ恩給法ノ適用ノ擴大致シマスコトハ、是ハ官吏ト官吏モ、恩給法自體ノ適用ハアリマセヌ、差當モニシテモ郵便年金法ガ改正ニナリマスガ、是モ一つノ謂ハバ一定ノ掛金ヲシテ置イテ老後ニ年金ヲ貰ヘルト云フ制度デアリマシテ、恩給ノ性質ト大シテ變ラナイト思ヒマスガ、サウ云フ制度ヲヤハリ漸次擴ゲテ行ク必要ガアルト思ヒマス、更ニモウ一つハ養老年金ト申シマスカ、國民年金ト申シマスカ、サウ云フヤウナ制度ヲヤハリ漸次擴ゲテ行ク必要ガアルト思ヒマス、更ニモウ一つハ警察官、監獄職買或ハソレ等ノ待遇職員ダケガ恩給法ノ恩典ニ浴シテ其ノ他ノ全國民ガ何等ノ恩惠ガナイト云フコトハ、今日ノアリマス、ソレカラモウツハ財政ノ方カドニ於キマシテモ、恆久的ナ施設ヲ考ヘテマダ差當リソレニ恩給法ヲ適用シテ、恩給見タイト云フヤウナコトヲ非公式ニ申サレ

ト給與シヨウト云フ所マデ考ヘテ居リマセアル毎ニ犠牲ハ公平ニ負擔シテ貰フノグ、

通ジテ、將來ソチラノ方面ノ發達ヲ見ルノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、アルシ、種々雜多デアツテ、其ノ資格ノアル者ハ勿論恩給法ノ適用ヲ受ケル、是ハ言フデスガ、軍屬ト稱セラレル者ノ中ニモ色々ナ者ガアリマシテ、官吏ノ身分ヲ持ツテ居ル者モアリマス、ソレヲ持ツテ居ラナイ者モアリマス、官吏ノ身分ヲ持ツテ居リマス者ハ恩給法ノ範圍ニ入ル譯デアリマスガ、ナドノ方面ニ於キマシテモ正式ノ官吏ト云フモノデナイ、併シナガラ國ノ仕事ニ從事シテ居ルト云フ職工ダトカ、或ハ所謂雇員ツタノデアリマスガ、御趣旨ノヤウニ恩給ノヤウナ制度ハ廣く行クノガ適當ダト云フコトハ確ニ考ヘラレマスノデ、獨リ官吏、或ハ軍人ト云フモノニ限ラズ、所謂民間ノ人ニ付テモ斯ウ云フ制度ガ發達スルコトガ考慮ニ入レラレテ、諸種ノ給與ナドニ影響シテ參ツタヤウナ譯デ、勿論根本ノ制度トシテ多數ニ及ボスト云フコトニ付キマシテハ、獨リサウ云フ所謂恩給バカリデハ片付カナイ部分ガ相當ニアルカト思ツテ居リマリト致シマシテサウ云フ所マデ恩給法ノ適用ノ擴大致シマスコトハ、是ハ官吏ト官吏モ、恩給法自體ノ適用ハアリマセヌ、差當モニシテモ郵便年金法ガ改正ニナリマスガ、是モ一つノ謂ハバ一定ノ掛金ヲシテ置イテ老後ニ年金ヲ貰ヘルト云フ制度デアリマシテ、恩給ノ性質ト大シテ變ラナイト思ヒマスガ、サウ云フ制度ヲヤハリ漸次擴ゲテ行ク必要ガアルト思ヒマス、更ニモウ一つハ養老年金ト申シマスカ、國民年金ト申シマスカ、サウ云フヤウナ制度ヲヤハリ漸次擴ゲテ行ク必要ガアルト思ヒマス、更ニモウ一つハ警察官、監獄職買或ハソレ等ノ待遇職員ダケガ恩給法ノ恩典ニ浴シテ其ノ他ノ全國民ガ何等ノ恩惠ガナイト云フコトハ、今日ノアリマス、ソレカラモウツハ財政ノ方カドニ於キマシテモ、恆久的ナ施設ヲ考ヘテマダ差當リソレニ恩給法ヲ適用シテ、恩給見タイト云フヤウナコトヲ非公式ニ申サレ

又

斯ウ言ツテ居リマスガ、其ノ犠牲ニ報イル
途モ亦公平デナレバナラスト考ヘマス、サ
ウ云フ意味ニ於テ此ノ養老年金トカ、或ハ
國民年金ト云フヤウナ制度ヲ樹テテサウ
シテ此ノ恩給法ニ似タヤウナモノニシテ國
民ノ老後ニ安心ヲ與ヘル、所謂國民ノ生活
ニ安心ヲ與ヘルト云フコトガ今日ノ場合、
是ハ國家トシテ當然行ハナケレバナラヌ一
ツノ國策デハアルマイカト考ヘルノデアリ
マス、此ノ點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイト
思ヒマス

○糧員政府委員 御尤ナ御尋ト考ヘテ居リ
マス、唯諒承シテ戴キタイコトハ、所謂養
老年金「オールドペンション」アノ制度ト官
吏ノ恩給制度ト云フモノガ、本質ニ於テハ
非常ニ違ツテ居ルコト存ジマス、ソレハ
名前ガ同ジク「ペンション」ト言ヒ、又譯シ
マシタ所デ養老年金ト云フ風ニ日本デハ譯
サレテ居リマスシ、恩給ナドト非常ニ近イ
名前ニ譯サレテ居リマスルノト、ソレカラ
又恩給モサウデアリマスルガ、此ノ年金ハ
殆ド終身的ニ、而モ毎年々々給與サレルト
云フヤウナ點ガ非常ニ外形ガ似テ居リマス
カラ、サウ云フ點ヲ比較シテ、サウ云フヤ
ウナ趣旨デナイノニ、官吏や軍人ダケニ付
テ恩給ガアルノハ片手落デハナイカト云フ

ヤウコトガ屢々論ゼラレルノデアリマスガ、
實ハ中味ハ非常ニ違ツテ居ルモノト吾々ハ
考ヘテ居ルノデアリマシテ、官吏や軍人ノ
方ハドチラカト申セバ、人ヲ使ツテ居ル者
ガ、自分ノ仕事デ段々ニ能力ヲ失ツテ行ク
者ニ對スル補給ト云フヤウナ性質ヲ本來ノ
恩給ノ方ハ持ツテ居リマス、段々ニ年ヲ取
積ンデ行クト云フコトニモナリマセウト思
ヒマス、ソレデ特別ナ恩給ヲ與フルノ必要
ハナシト云フコトニナリマス、ソレカラ又
例ヘバ戰爭ニ於テ、或ハ其ノ他ノ公務ニ於
キマシテ急ニ病氣ニナツタリ怪我ヲシタリ
スル、戰爭ニ行ツテ片腕ヲ落シテシマツタ
ト云フ人ガ生キテ居ルトシテ、其ノ人ガ十
分ニ働ケナクナリマスノデ、ドウシテモ之
ニ對シテハ國家デ之ヲ補給シテヤラナケレ
バナラヌ、腕ヲ返シテヤル譯ニハ行カヌカ
ラ、ドウシテモ其ノ人ノ生活ノ爲ニ必要ナ
ハ給與スル場合ニ於キマシテノ金額ヲドウ
モノデ補ツテ行カナケレバイカヌト云フコ
トデ、恩給ノ根本ノ建前ハサウ云フ途ハ有リ得ナ
イノデスカラ、ソレハドウシタツテ恩給ト云フ
イト思ヒマス、併シ急激ニ來ル戰爭デ片腕ヲ
失フトカ云フコトハ、サウ云フ途ハ有リ得ナ
ガ将来ノ爲ニ多少備ヘテ行ケルダケノ餘分サ
ヘアレバ、恩給ハ廢ヌテ廢ヌラレヌコトハナ
アリマスガ、是ハ一般デハナイ、通常ニ於
テ四割カ五割ハ俸給ガ良クナツテ行クト云
フコトニナツテ居リマス、ソレデ實業界ノ
方ノ給與トスレバ、將來ノ爲ニモ多少ハ備
ヘテ置ケルノデハナイカト云フコトガ考ヘ
ラレマス、實業界ノ方面デハ給與モ亦御說
ノ通リ區々ニナツテ居リマス、ソレデ良い
給料ノ會社等ニ於キマシテ、理論上カラ申
セバ恩給ハ必要ハナイト思ヒマスガ、却テ
良イ給與ノ會社ノ方デ將來ノ爲ニ年金ヲヤ
ルト云フヤウナコトヲ現在ヤツテ居リマス、
其ノ制度ガナイ譯デモナインシ、若シナイト
スレバソチラノ會社ノ方デ考フベキ立場ニ
アルノデハナイカ、養老年金ニナリマスル
ト、全ク是トハ趣ヲ異ニ致シマシテ、或ル

低イモノヲヤツテ居レバ、恩給ノヤウナ制
度デヤルベキダラウシ、又會社ノ給料ガ良
コトナラバ、其ノ會社トシテハ特別ニ將來
恩給ヲヤラナクテモ宜イト云フコトニナル
ノダラウト思ツテ居リマス、大體ニ於キマ
シテハ會社ナドノ給與ノ方ガ、官公吏や軍
人ナドニ對スル給與ヨリモ多イノデアリマ
ス、大抵官吏ナドガ實業界ノ方ニ行ク場合
ハ、四割カ五割増——非常ニ極端ナ例ハ五
倍モ六倍モ貰ツテ實業界ニ入ルト云フノガ
アリマスガ、是ハ一般デハナイ、通常ニ於
テコトニナツテ居リマス、ソレデ實業界ノ
方ノ給與トスレバ、將來ノ爲ニモ多少ハ備
ヘテ置ケルノデハナイカト云フコトガ考ヘ
ラレマス、實業界ノ方面デハ給與モ亦御說
ノ通リ區々ニナツテ居リマス、ソレデ良い
給料ノ會社等ニ於キマシテ、理論上カラ申
セバ恩給ハ必要ハナイト思ヒマスガ、却テ
良イ給與ノ會社ノ方デ將來ノ爲ニ年金ヲヤ
ルト云フヤウナコトヲ現在ヤツテ居リマス、
其ノ制度ガナイ譯デモナインシ、若シナイト
スレバソチラノ會社ノ方デ考フベキ立場ニ
アルノデハナイカ、養老年金ニナリマスル
ト、全ク是トハ趣ヲ異ニ致シマシテ、或ル

老年ニ至ツテ生活ノ出來ナイヤウナ人ノ一
種ノ保険ト致シマシテ、前カラ危険ヲ長イ
年代、多數ノ人ニ分散シテ行クト云フ組織
ニナツテ居リマスノデ、今ノ人ヲ使ツテ居
ル者ガ、其ノ使ハレテ居ル者ニ對シテノ將
來ヲ考ヘテ行クト云フノトハ非常ニ趣旨ガ
違ヒマス、名前ガ非常ニ似テ居ル、ソレカ
ラ給與ノ仕方ナドガ似テ居リマスカラ、動
モスルトソレト是トガ比較サレマスケレド
モ、養老年金ト云フ方面ハ、全ク別個ノ見
地カラ是ハ發達サセナケレバナラヌモノト
考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、郵便年
金ノ擴張ナドニ於キマシテモ、多分ニサウ
云フコトニ代ルト言フト語弊ガアルカ知レ
マセヌガ、兎ニ角ソレノ一助トシテ今回モ
提出サレタヤウナ譯デアリマス、養老年金
全體ニ付キマシテハ、所謂官吏ヤ公吏軍人
ナドノ恩給ト云フモノト比較ナシニモ、獨
立シテ別途ニ考フベキ問題ダト承知致シテ
居リマス

當ナ給與ヲスルト云フ精神カラ出テ居ルヤ
ウデアリマス、今ノ説明ニ依リマシテモ、
活動能力ガ徐々ニ或ハ急激ニ減損スルノデ、
ソレニ對スル補償ト云フヤウナ意味ガ主ナ
モノデアルヤウニ聽イタノデアリマス、サ
ウシテ此ノ國民年金、養老年金ト云フヤウ
ナモノハ、是ハ恩給ノ方トハ別ニソレド
民間ノ會社工場等ニ於テ考ヘラレルベキモ
ノデハナイカ、斯ウ云フ御意見デアリマシ
タケレドモ、今日ノ民間會社工場等ニ於キ
マシテ、サウ云フ年金ノヤウナ制度ヲ設ケ
テ居ルト云フ所ハ、恐ラクサウ譯山ナイノ
デヤナカラウカ、一、二ノ指ヲ届スル程
度ノモノデヤナカラウカト思ヒマス、勿論
陸軍、海軍其ノ官公署ニ隸屬シテ居ル
ト言ヒマスカ、其ノ管轄下ニアリマスル工
場等ニ於テハ、之ニ類似スルモノガアルノ
デアリマスケレドモ、其ノ他ノモノニ付テ
ハ殆ドアリマセヌ、唯退職積立金及退職手
當法ト云フ法律ガ出來マシテ、ソレニ依ツ
テ退職積立金ト云フモノガ、罷メタ場合ニ
貰ヘルヤウニナリマシタガ、是ハ一時
ニ貰フ金デアリマシテ、而モ其ノ額ハ極メ
スルニハ足ラナイノデアリマス、之ヲ今ノ
ヤウナ御考デ居ラレマシテハ、國民ハ永久

ニ救ハレル時ガナイト悲觀セザルヲ得ナイ
ノデアリマス、郵便年金ト云フモノハ出來
マシタケレドモ、議會デモ論議セラレテ居
ルヤウニ、其ノ發達ガ甚ダ遲タルモノデ
アリマシテ、是ハヤハリ國家ノ手ニ依ツテ、
サウシテ全國民ノ老後ノ生活ニ安心ヲ與ヘ
テヤルト云フ、此ノ制度ガ必要デアルト考
ヘマス、尙ホ少シ質問ガアルノデアリマス
ガ、此ノ恩給法ノ根本改正ニ關ジマシテ齋
藤委員カラ質疑ガアルヤウデアリマスカラ、
一時齋藤氏ニ讓リタイト思ヒマス

政府トシテモ改正ジテ見タイ、斯ウ云フ點
ガ多イノダラウト思フ、サウ云フコトハ後
ニ讓リマシテ、——而モ塚本君ハ財政上ノ
意見ガアルヤウデアリマスカラ、私モソレ
ヲ承ツテカラ申上ゲテ見タイト思ヒマス、
唯此ノ事變ニ當面シテ、全面的ノ改正ハ出
來マセヌデモ、事變關係ノコトダケハ是ハ
ヤラナクテハナラスト思フ、サウ云フ結果
カラ今回ノ御改正モ現ハレタモノト思ヒマ
ス、吾々ハ此ノ案ニ付キマシテハ更ニ異議
ナイ考デアリマスカラ、アレハ宜イノデア
リマスケレドモ、只今塚本君ノ御話ヲ承リ
マスト、事變ニ關係シタ人々ニ成ベク多ク
恩給ヲ均霑サセル、斯ウ云フコトヲ申サレ
テ居ル、是ハ私モ洵ニ至極御尤ナ御意見ダ
ト思ヒマス、所デ塚本君ト恩給局長ノ問答
ヲ承ツテモ、大體精神ノ在ル所ハ分リマス
ケレドモ、ドウ云フ人々ガ此ノ事變ニ活動
シテ居ラレルカ、是ハ軍人ハモウ分ツテ居
リマス、或ハ軍人ニ準ズベキ人モ分ツテ居
ル、官吏デアリマシテモ其ノ時ノ資格デ恩
給ヲ貴ヘルコトモアリ、或ハ恩給ニ關係ナ
イコトモアルヤウニ思フ、其ノ他軍デ色々
名目ノ人ガ活動シテ居ルノカ、先程御話ガ
アツタガ、ソレハ一括スルト、雇員ト云フ

ト云フヤウナ人モ活動シテ居ラレルヤウニ
思フノデス、サウ云フ類ノ人々ヲ此ノ際具
體的ニ承ツテ見タイノデス、ドウ云フ人ガ
活動シテ居ルカ、例ヘバ宣撫班ト云フ人ガ
此ノ頃活動シテ居ルヤウデスガ、アア云フ
人ハ國家ノ關係ガドウ云フヤウナ立場ニア
ル人デアルカ、雇員カ囑託ダラウト思ハレ
マスケレドモ、モツトソレヲ詳シク承リタ
イ、又サウ云フヤウナ宣撫班類似ノヤウナ
人ガモット他ニモ居ルノカドウカ、或ハ技
術者ナドニモ居ルノデヤナイカト思フ、サ
ウ云フノモ承ツテ置キタイ

ガ付イテ居リマスケレドモ、一括シテ言ヘ
バ、官吏ナドノ身分ヲ持タナイ、サウ云フ
身分デナクテ而モ尙ホ軍ノ方ノ仕事ヲシテ
居ル人々ガ澤山アリマス、近ク出來ルコト
ニナツテ居リマス例ノ興亞院連絡部ナドニ、
現地ノ方デ吸收サレルヤウナ人々ナドガ之
ニ屬シマスケレドモ、高イ地位ノ人トシテ
ハ、内地ニ居ツテ親任待遇ヲヤツタト云フ
ヤウナ人ナドモ向フニ參ツテ居リ、或ハ勅
任一二等ノ所ニ達シタト云フヤウナ人モ居
リマスガ、ソレ等ガ顧問トカ、或ハ囑託ト
カ云フヤウナ名前デ、隨テ特別ナ官吏ト云
フ身分ヲ持タズニ囑託サレテ、實ハ社會的
ニ上下ハアルケレドモ、法律的ノ眼カラ見
レバ雇員ナドト同ジ立場ニ立チマシテ、サ
ウシテ色々ノ仕事ニ携ツテ居リマス、ソレ
ハ軍ニ屬スル特務部ナドノ將校ナドノ指圖
ヲ受ケマシテ、司令官ノ統下ニ入ツテ働イ
テ居リマスガ、サウ云フ人ガ澤山アリマス、
尙ホ其ノ他ニ純然タル地方關係デ向フノ方
ニ——内地デ申シマスレバ雇、或ハ傭人ト
ルヤウナ者モ澤山參ツテ雜務ニ服シテ居ル
シテ仕事ヲシテ居ル人々ナノデアリマスガ、
ト云フ状態デアリマス、ソレハ軍ノ方ニ屬
シテ仕事ヲシテ居ル人々ナノデアリマスガ、

タ人ト致シマシテ、例ヘバ鐵道ニ於ケル技師、或ハ書記官ヲ派遣スル、或ハ大藏方面ニ於キマシテモ財務官ヲ派遣スル、或ハ通信ナドノ方面ニ於キマシテモ、遞信省カラ書記官以下、或ハ技師、技手ト云フヤウナ人々ガ派遣サレマシテ、又ソレニ隨イテ其ノ雜務ヲヤル爲ニ雇員ナドガ附キマシテ、澤山現地ニ行ツテ働イテ居ルヤウナ事情デアリマス、是ガ内地ヤ或ハ朝鮮、臺灣ト云フ風ナ、所謂外地ト稱セラレテ居リマス所ノ書記官ト、總動員事務ナリ、或ハ直接ノ戰務ナリニ協同シテ働イテ居ルヤウナ狀態ガ、官吏ニアラザル者ト、又社會的ト申シマセウカ、實際上ハ等級、位地、仕事ノ重要サト云ツタヤウナモノニ千差萬別ナ相違ガアリマシテ、到底是ハドウ云フ仕事ヲシテ居ルト云フコトニ付テハ、一々枚舉ニ遑ニナルノデスガ、ソコデサウ云フ人ガ、ヤハリ雇員タル資格デソレハ、待遇ヲサレテ居ルト思フノデスケレドモ、戰死ナドシタ場合ハドウ云フコトニナルノデスカ、ソレハ殆ド恩給法ニ關係ノナイ人デスガ、何カ

實質上特別ナ扱ヒヲサレルノデハナイカト
思ヒマスガ、サウ云フコトハ御分リニナツ
テ居リマスカ

○権員政府委員 サウ云フ人ガ戰死シマシ
タ場合ニハ、恩給法ノ方カラ言ヘバ何等顧
ミラレマセヌノデス、ソレカラ其ノ他ノ點
ノ給與ノ方ハ、今日ハ陸軍ノ方ハ出ラレテ居
リマセヌガ、海軍ノ方ハ川崎中佐ガ居ラレ
マスカラ、具體的ニ御答致シマス

○川崎説明員 雇員傭人ト云フヤウチ者ガ
戰死致シマスト、是ハ戰死バカリデハアリ
マセヌガ、公務デ亡クナリマスト云フト、
給與ノ方面ニ於キマシテハソレ相當ノ待遇
ガアルノデアリマス、是ハ別ニ雇員扶助令、
傭人扶助令ト云フ扶助令ガ出テ居リマシテ、
ソレニ依リマシテ待遇サレルノデアリマス、
此ノ扶助令ノ中ニハ、遺族扶助料モアリマス、
シシ、ソレカラ傷病ノ扶助料モアリマスシ、
埋葬料ノ如キモアルノデアリマス、但シ遺
族扶助料ノ方ハ、恩給法ニ依リマスト年金デ
アリマスケレドモ、雇員扶助令、傭人扶助
令ノ方ハ一時金デアリマス、ソレカラ戰死
ノ場合ニ於キマシテハ、靈ヲ慰メルト申シ
マスカ、斯ウ云フ方面ニ付キマシテハ軍人
ニ準ジマシテ色々ノ弔靈ノ方法ヲ講ジテ居
ル譯デアリマス、靖國神社ノ合祀ナドハ勿

論ヤラレテ居リマス

○齋藤委員 履員傭人ニ對シテモサウ云フ
規定ガアツテ、其ノ規定ニ基イテヤツテ居ラレル、斯ウ云フコトニ承ツタノデスガ、
ソレハ恩給法トハ餘程差ガアルダラウト思ヒマス、其ノ給與金額ナリガ、只今御話ノ
通り扶助料ノ如キモ年金デハナイ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、サウ云フコトガ私
共ハ實ヲ言フト此ノ事變ニ際シテ、恩給法
ノ改正ヲシテ戴キタイト思フ所デス、履員
傭人ト云フ人々ハ兵隊デハアリマセヌケレ
ドモ、或ハ志願ヲシテ行カレタ人々デアル
カモ知レマセヌガ、ソレデアリマシテモ戰
争ヲサレルト云フコトガ、是ハヤハリ國ニ
盡サレル、或ハ盡サレタ所ノ功績ト云フモ
ノハ、兵隊サンニサウ讓ラヌノデアリマス、サ
ウ云フ者ハ國家トシテモ其ノ遺族ニ對シテ相
當扶助ノ途ヲ考ヘナケレバナラス、今御話
ニ依リマシテモ、一方ハ年金頂戴シテ居
ル、一方ハ恐ラク僅カノ一時扶助金ニシカ
當ラヌト思ヒマス、サウ云フコトヲ恩給局
ハ相當御主張ニナツタノデスカ、何レ恩給
局トシテハ事變ニ際シテ各種ノ方面カラ恩
給法ヲ研究サレテ、サウシテ此ノ事變ニ對
應サレル御意見ガアルニ相違ナイ、偶ニ塚本
君カラ、多クノ事變關係ノ人々ニ恩給法ノ

恩典ニ浴セシメタイ、斯ウ云フ御發議ガア

リマシタノデ、私モソレハ豫テサウ思ツテ
居ツタ、是ハドウシテモサウナケレバナラ
ス、殊ニ下級ノ人ニサウシテ貰ハナケレバ
ナラヌト思フ、ソレ等ニ付テ何カ御意見ガ
アツテモ、ヤハリ財政上出來ヌノデアル、
斯ウ云フコトニナルノデアリマスカ
○平木政府委員 只今ノ問題ハ、恩給局ノ
方ニ於キマシテモ前カラ檢討シテ居ル問題
デアリマス、唯先程樞員政府委員カラ御話
ガアリマシタ通リニ恩給法ノ建前ガ、私共
ト致シマシテハ大體公務員ニ限定シタイ、
公務員以外ノ方ニ實質上恩給法ト同ジヤウ
ナ建前デ救濟ヲスル必要ナ場合モ、勿論澤
山アルト考ヘテ居リマス、ソレハ會社ノ從
業員トカ、會社其ノ他ニ關係ガアリマセヌ
ガ、ソレハ雇員デアツテモ傭人デアツテモ
公務員ニ入レル、是ハ一向差支ナイト思
フ、サウ云フコトヲ此ノ事變關係ノ問題ト
シテ御取上ゲニナツテ、サウシテ御研究ニ
ナルコトハ私共適切ナコトデハナイカト思
フ、恩給法ノ全面的改正ヲ行フト云フコト
ハ成程容易デナイト思ヒマス、ガ少クモ
現在ノ恩給法ノ範圍ニ於テ公正ヲ期シテ行
クト云ツタヤウナコトハ、是ハ當然爲サナ
ケレバナラヌト思フノデス、サウ云フ戰地
ニ於テ働くル雇員トカ傭人トカ云フ人
ガ、私ハ常識判断デ、少クモ戰爭サレタヤ
ウナ場合ニハ、是ハ絕對ニ兵隊サン同様デヤ
ナイカト思フ、當然是ハ國家ガ見テヤラナ
キマシテハ、ヤハリ其ノ方面ニ必要ナル措
置ヲ講ズルノガ適當デハナイダラウカ、サ
ウシテ行クノガ、實質ハ同ジデアリマセウ
ケレドモ、國ノ恩給法其ノ他ノ建前ヲ各々
リ且ツ有效ナ目的ヲ達スル方法デハナイ

カ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○齋藤委員 ソレハ公務員ト云ツテモ、公
務員ト云フモノハ自然ニ決ツテ居ルノデア
リマセヌ、ソレハヤハリ公務員ト云フモノ
ハ斯ウ云フモノダト云フコトヲ國ガ決メ
テ、ソレデ公務員ノ範圍モ決マルノデス、
斯ウ云フコトニナルノデアリマスカ
○樞員政府委員 只今ノ問題ハ、恩給局ノ
方ニ於キマシテモ前カラ檢討シテ居ル問題
デアリマス、唯先程樞員政府委員カラ御話
ガアリマシタ通リニ恩給法ノ建前ガ、私共
ト致シマシテハ大體公務員ニ限定シタイ、
公務員以外ノ方ニ實質上恩給法ト同ジヤウ
ナ建前デ救濟ヲスル必要ナ場合モ、勿論澤
山アルト考ヘテ居リマス、ソレハ會社ノ從
業員トカ、會社其ノ他ニ關係ガアリマセヌ
ガ、ソレハ雇員デアツテモ傭人デアツテモ
公務員ニ入レル、是ハ一向差支ナイト思
フ、サウ云フコトヲ此ノ事變關係ノ問題ト
シテ御取上ゲニナツテ、サウシテ御研究ニ
ナルコトハ私共適切ナコトデハナイカト思
フ、恩給法ノ全面的改正ヲ行フト云フコト
ハ成程容易デナイト思ヒマス、ガ少クモ
現在ノ恩給法ノ範圍ニ於テ公正ヲ期シテ行
クト云ツタヤウナコトハ、是ハ當然爲サナ
ケレバナラヌト思フノデス、サウ云フ戰地
ニ於テ働くル雇員トカ傭人トカ云フ人
ガ、私ハ常識判断デ、少クモ戰爭サレタヤ
ウナ場合ニハ、是ハ絕對ニ兵隊サン同様デヤ
ナイカト思フ、當然是ハ國家ガ見テヤラナ
キマシテハ、ヤハリ其ノ方面ニ必要ナル措
置ヲ講ズルノガ適當デハナイダラウカ、サ
ウシテ行クノガ、實質ハ同ジデアリマセウ
ケレドモ、國ノ恩給法其ノ他ノ建前ヲ各々
リ且ツ有效ナ目的ヲ達スル方法デハナイ

考ヘヨウト云フコトデ私ガ試ミタコトガ
アリマス、モウ十五六年モ前ニナリマ
スガ、是ハ色々検討致シマシタ、恩給ヲ
獨立ニ恩給ヲヤラヌトシテモ、雇員ノ在職
年數ト云フヤウナモノヲ通算スル方法ヲ
講ズルカ、或ハ雇員トシテ公務ニ斃レタ場
合ニ恩給ヲヤルト云フヤウナコトヲ考フベ
キデハナイカト云フコトデ、色々検討ヲ
致シテ見マシタ、是ハ第一ニ非常ニ大キナ
影響ヲ來シマスコトハ、財政ノ關係デアリ
マス、非常ニ數ガ多イノト、第二ニハ雇員
ノ心理ト申シマセウカ、雇員ダツテ全部ト
云フ譯デハアリマセヌガ、大體ノ傾向ヲ言
ヒマスト、腰ガ落付カヌト言ヒマスカ、官
吏ニナツタ者トハ實際ニ於テ何處トナク違
フ所ガアルノデアリマス、同ジ人間デモ任
官シマスト、腰ノ落付キ方ガ違フノデアリ
マシテ、官廳ノ具體的ノ例ヲ申シマシテモ、
午後ノ四時ニナリマスレバ大體雇員ハサツ
サト歸ツテシマフ、ソレガ判任官以上デア
ルト、ヤハリ上ノ者ノ用事ガ済ムマデハ、
居残ツテ居ルト云フヤウナ傾向ニナツテ居
リマス、又課長ナリ局長ナリトナレバ、責
任上夜ヲ徹シテモ屢々仕事ヲヤル、サウ不
平モ言ハズニ仕方ガナリ、當然サウ云フモ

ノト云フヤウナ考デ任官シタ者ハ受入レテ
居ルト云フヤウナ實情デアリマス、ソレ等
モノガ發達致シマシタ、官吏ノ方ハ入レズ
ニ雇員、傭人デ共濟組合ヲ組織スル、之ニ
ハ國家ガ補助シ、當人達ニモ納金ヲサセテ、
恩給ニ類シタ、或ハ一時金的ニ給與ヲスル
ト云フヤウナ共濟組合ヲ官廳ニ澤山持ヘタ
ノデアリマシテ、今日色々ナ方面ニ相當發
達シテ居リマスガ、サウ云フモノデ行ツタ
方ガ宜カラウ、極ク長イ雇員モアリマスケ
レドモ、大體一般ヲ通ズレバ雇員ノ在職期
間ハ短イノガ多イノデス、サウ云フヤウナ
所カラドウモ之ヲ官吏ヤ何カト一縉ニスル
譯ニヘ行カヌ、別ニ取扱ツテ行カウト云フ
ヤウナコトニ結論ハナリマシタノデス、軍
人ノ方面ニ付テハ、所謂一般ノ兵ハ無論官
吏デヤアリマセヌガ、其ノ關係ハ全ク命令
服從デ、今ノ普通ノ雇員ノ如キ自由ナモノ
デハナイノデアリマス、是ハ全ク別ニ取扱
テハ、軍ニ居ルモノト召集ニ依ルモノト之
ヲ區別致シマセヌ、全然一體トナツテ同ジ
ヤウニ働くカナケレバナラスト云フ譯デ、全

然區別致シテ居ラスヤウナ狀態デアリマス、
ソコデ軍ノ方デ使ヒマスル雇員ト傭人トヲ
見合セテ考ヘマスト、ソコニヤハリ區別ノ
「ライン」ハ引キ得ルト云フコトガ考ヘラレ
マス、現在ノ事變ニ於キマシテモ、純粹ノ意
味ニ於ケル戰死ハ雇員、傭人ニハナイ建前
デアリマス、恐ラク今後トモナイグラウト
思ヒマス、ソレハ第一線ノ戰鬪ヲヤルト云
フヤウナ仕事ニハ雇員ヤ傭人ハ用ヒナイノ
デアリマス、隨テ色々ノ物ノ運搬デアルト
カ、或ハズツト後ノ方ニ居リマシテ事務ヲ
手傳フトカ云フヤウナコトニ使ヒマスノ
デ、ソレ等ガ假ニ偶、敵カラ迂回シタ大部隊
ニ襲撃デモサレレバサウ云フコトモゴザイ
マスガ、今マデ日本デサウ云フコトハアリ
マセヌ、純粹ノ戰鬪死ト云フ意味ニ於ケル
戰死ハ雇員ナドニハアリマセヌ、自ラヤル
コトガ兵ト雇員トデハ、餘程達ヒマスノデ、
立場ガ違フ爲ニ、兵ト同ジ周給法デ律スル
少クトモ此ノ事變ニ關シマシテ、軍人ノ方
トスウ云フ雇員達ト全然同ジヤウニ取扱フ
ト云フ所マデ、其ノ必要ヲ認ヌテ居リマセ
ヌヤウナ次第アルノデアリマス

承リマシタガ、サウトバカリハ言ヘナイト
思フ、併シ私ノ申シマシタノハ、兵隊サン
ト同様ニ取扱ヘト云フノデヘアリマセス、
ソレハ自ラソコニ階段ノアルノハ當然ニア
リマスゲレドモ、當然ノ階段ハアルニシテ
モ、ヤハリ戦死ト云フコトニナレバソレ相
當ノ待遇ヲシナケレバナラヌ、先刻海軍ノ
政府委員ノ御話デハ、唯一時金ガアルダケ
デアル、年金ト一時金ト云フモノハ非常ニ
差ガアルコトハ御承知ノ通リデアル、モツ
ト接近シタ待遇ガ必要デヤナイカ、斯ウ云
フコトヲ希望シタノデアリマス

御伺ヒシタインデアリマス、ソコデ段々ト
者ノ遺族或ハ戦傷者、殊ニ重イ戦傷者ノ如
キハ、到底國家ガソレダケヲ以テ報ヒタイ
ト云ツテ満足スルコトハ出來ヌノデアリマ
ス、是ハ法以外ニ色々ナ方法ガ講ゼラレナ
ケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フコトヲ
考ヘマスト、是ハ恩給局ノ主管ノ範圍外ト
思ヒマスケレドモ、厚生省アタリデ昨年來
ドウ云フコトヲヤツテ居ルカ、恩給制度ト
相俟ツテヤハリ國家ノ報イル是ハ重大ナル
事柄ダト思フ、サウ云フコトヲ厚生省ノ方
ガ御見エニナツテ居ラナケレバ已ムヲ得マ
セヌガ、サウ云フコトヲ承ルコトガ、吾々
ハヤハリ此ノ恩給制度ノ根本ニ觸レテ、
吾々ノ考ヲ決メルノニ非常ニ参考ニナルヤ
ウニ思フノデスガ、サウ云フ機會ヲ作ツテ
戴クコトヲ委員長ニ御願致シマス

佐ヨリ御答辯申上ゲテモ宜イト思ヒマス

○高橋委員長 一寸齋藤君ニ申上ゲマスガ、

此ノ機會ニ厚生省ノ政府委員ノドナタカニ

御出席願ツテ御答辯シテ戴ゲバ、其ノ方

ガ便宜カト思ヒマスカラ、一應照會シテ見

マスガ、其ノ間御満足ガ行クカドウカ知リ

マセヌガ、海軍ノ方ガ御出席ニナツテ居リ

マスカラ、一應其ノ御話ヲ伺ツテ見タラド

ウカト思ヒマス

○齋藤委員 ソレデハサウ御願致シマス

○川崎説明員 私ハ唯サウ云フ方面ニ關係

ダケデゴザイマスガ、斯ウ云フ方面ニ說明

致シテ居リマスノデ、説明員トシテ申上ゲ

マス、御話ノヤウニ恩給法バカリデ行ツテ

居ルノデハ決シテナインデアリマシテ、恩

給法デハ第一ニ退職ト云フコトヲ條件トシ

テ居リマシテ、退職シナケレバ恩給法ト云

フモノハ發動サレナイノデアリマスガ、軍

人側ニ取リマシテハ軍人ニ居リマス時カラ

又出征スル前カラ何ガシカノ援助が必要ナ

場合ガ多イノデアリマス、ソレニ付キマシ

テハ軍人援護事業ト云フノデヤツテ居ルノ

デアリマス、援護事業ハ大體法ニ依ル援護

ト、法ニ依ラザル援護トニ分レマス、法ニ

依ルノハ軍事扶助法ニアリマシテ、法ニ依

ラザルモノトシマスト、扶助法以外デ、是

ハ厚生省所管ノコトデアリマスガ、制度的

ノ扶助施設、或ハ團體ヲ以テスル扶助施設

ト云フモノヲヤツテ行ク、此ノ方ハ先ヅ應

召等ニナリマシテ出テ行キマス場合モ、法

ニ依ラザルモノヲ要スレバ發動致シマシテ

援護シテ行ク、ソレカラ軍人ニナリマシテ

カラノ援護ト云フモノハ、是ハ主トシテ軍

事扶助法ニ依ツテヤツテ居ル狀態ニアリマ

ス、軍事扶助法ニ付キマシテハ、要スレバ

當該者カラ御説明ガアルト思ヒマスガ、此

ノ制度ハ要スルニ生活困難ナ者ヲ困難デナ

イヤウニシテヤル、詰リ生活ノ水準線ニマ

デ達シサセテヤルト云フコトノ手段デ來テ

居ルノデアリマス、ソレカラ在役中ニ於キ

マシテモ、軍事扶助ダケデ賄ヘナイ點ガ多々

アルノデアリマス、例ヘバ軍事扶助法ノ

方ハ法ニアリマス故ニ、戸籍ニ立脚シテ出

來テ居リ、色々ノ手續上ノ問題ガアルノデ、

是ハヤハリ一寸規定ニ引掛ツテ出來ナイ、

扶助ガ十分ニ賄ヘナイ點ガ多々アリマシテ、

内縁ノ妻ダトカ、或ハ私生子ダトカ、或ハ

同一戸籍内ニアラザル世帯ノ狀況ニ關ス

ルモノ、斯ウ云ツタ點マデハ法デハ出來ナ

イモノガアルノデ、ソレハ援護事業ト致シ

マシテ、制度的ノ扶助ニ依ツテヤツテ居ル

ヤウナ狀態ニアリマス、ソレカラ軍人ガ退

職ヲ致シマス、其ノ退職、或ハ傷ツイテ

免役ニナル、或ハ病氣ニナツテ免役ニナツ

テ來ル者モアリマス、或ハ死亡スルト云フ

ニ於キマシテハ、恩給法ニ依リマシテ遺族

扶助料ニナツテ行クノデアリマスガ、其ノ

遺族扶助料ト死亡トノ間ニ若干ノ期間ガア

リマシテ、遺族ハ當面ノ生活問題ニ困ルト

云フヤウナ場合ニハ、是ハ軍事扶助法ノ適

用ナリ、或ハ援護施設ノ適用ニ依リマシテ、

困ラナイヤウニシテヤル、ソレカラ所謂傷

痍軍人トナリシマテ、傷痍疾病ノ爲ニ免役

サレテ行ク者ニ對シマシテハ、陸軍病院或

ハ海軍病院ヲ出マシテモ、直グ是ハ困ル問

題デアリマスカラ、此ノ方ハ厚生省ノ外局

デアル傷兵保護院ノ施設ニ引取ツテ世話ヲ

スル、即チ疾病ノ方ハ傷兵保護院ノ經營シテ

居リマス所ノ傷痍軍人療養所ニ入レテヤル、

ソレカラ傷痍者ノ方ハ是ハ適當ナル療養ヲ

スルヤウニ仕向ケテ居リマス、サウシテ其

ノ療養ヲ要セザル者ハ、國立ノ職業再教育

所ノ方ニ於テ職業再教育ヲヤルトカ、或ハ

直グ就職ノ出來ル者ハ軍病院ニ居リマス間

テ居ルノデアリマス、ソレカラ御承知ノヤ

ウニ昨年十一月五日ニ恩賜財團軍人援護會

ガ出來マシテ、在來ノ團體ヲ統括致シタノ

デアリマスガ、此ノ恩賜財團軍人援護會ニ

於テモ、法ヲ以テ救濟出來ナイ所ノ援護ヲ

引受ケテヤル、斯ウ云フヤウナ方法デ進ン

デ居リマス、概要御説明申上ゲタ次第デア

リマス

○塚本委員 齋藤氏ノ言ハレマシタコトハ、

私ノ尙ホ言ハントスル所ヲ十分ニ述べテ貰

ヒマシタノデアリマスガ、唯ソレニ對シマ

スル答ノ中ニ、ドウモ雇員ト公務員ト同ジヤ

ウニハ行カヌ、例ヘバ勤務振リニ於テモ面

ヒクナイ點ガアル、或ハ勤續ノ年數ガ短イ

トカ云フヤウナ色々ノ事情ヲ述ベラレマシ

タガ、是ハ待遇ニサウ云フ甲乙ガアルカラ、

結局其ノ勤務ノ上ニサウ云フ等差ガ現ハレ

テ來ルノデハナイカ、同ジ待遇ヲ以テシマ

スルナラバ、雇員ト雖モ、其ノ他ノ下級ノ

人々ト雖モ同ジヤウニヤハリ誠實ニ勤クト

思フノデアリマス、人間ハ其ノ置カレル環

境ニ依ツテ考ガ各、變ツテ參リマス、酬ユル

ニ適正ナル方法ヲ以テシマスレバ、ソレニ

對シマシテヤハリ勤勉ニ勵クグラウト思ヒ

マス、私ハ此ノ事ニ付テ多ク論議スル考ハ

アリマセヌガ、ドウゾ一段ト此ノ點ニ付テ

御考ヲ廻ラシテ戴キマシテ、恩給法ノ改正

拂ハナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、併シ是モ考ヘ様ニ依リマスト、實ニ怪シカラヌコトダト平素カラ思ツテ居リマス、軍隊ニ再役シテ恩給ガ附イタ、或ヘ警察官ガ一定ノ年限ヲ勤メテ恩給方貰ヘルヤウニナツタ云フ人達ガ、會社ヤ工場等ニ勤メテ居ル實情ヲ見マスト、因給ガアルカラ特ニ給料ガ低イト云フヤウナ傾向モ見受ケラレルノデアリマス、是ハ全ク面白クナイコトデアル、國家ノ爲ニ永年勤メタ者ガ漸ク恩給ヲ得ラレルヤウニナツテ、ソレガ民間ノ會社工場ニ勤ヌル場合ニハ、國家ノ恩惠ニ依ツテ受ケテ居ル恩給ヲ斟酌シテ、特ニ低イ給料デ雇フト云フヤウナ結果ニナツテ居ルト思フノデアリマス、勿論斷言スルコトハ出來マセヌケレドモ、若シサウ云フ風ニ五十歳ナラ五十年マデハ恩給ガ支給出來ナイト云フコトニナレバ、今ノサウ云フヤウナ狀態モ多少改マツテ來ハンナイカト思フノデアリマスガ、何レニシテモ、多少ハソコニ手心ハ置クト致シマシテモ、今ノ相當ナ高イ額ヲ纏マツテ貰フ者ニ付テ、斯ウ云フ制度ヲ設ケマスナラバ、相嘗餘裕ガ出來テ來ルノデコトデアリマスガ、今申シマシタヤウニ、判任官以下ハ兎モ角トシテ、ソレ以上ノ高

等官デアリマスガ、サウ云フ人達ガ再ビ公務員トナツタ場合ニ、勿論其ノ間恩給ハ停止セラレルデセウ、所ガ是ガ民間ノ會社ニ入ツテ居ルト、恩給ヲ貰ヒナガラ、先ニモ御話ノアツタヤウニ、官ニ居ルヨリハ寧ロ民間ニ就職シタコトニ依ツテ破格ナ給料ヲ得テ居ル者ガ相當多イ、是等ノ如キハヤハリ公務員トシテ再ビ就職シタ場合ト同ジヤウニ、民間ニ就職シテ相當多額ノ給料ヲ得テ居ル者ナドニ付キマシテハ、是ハ斷乎トシテ一時停止ヲナサルコトガ必要デハナイカト思ヒマスガ、御意見ハ如何デスカ

○権貴政府委員 是ハ私モ考ヘテ見マシタノデスガ、確ニ御説ノヤウナコトガ考ヘラレマスノデ、先ノ昭和八年ノ時デアリマシタカ、相當額ノ恩給ヲ貰ツテ居ル者デ、更ニ他ノ方面カラノ收入ガ相當額以上ニナツ

ト云フコトニ致シマシタ、之ヲ吾々ハ多額所得者ノ恩給ト呼ンデ居リマスガ、サウ云フヤウナ改正モ致シマシタ、是ガ不十分デ

タルト云フヤウナ御意見モ一方ニアルト思フヤウナ改正モ致シマシタ、是ガ不十分デ

テモ、他方デ相當ニ對シマシテハ痛烈ナ攻撃フモ與ヘラレ、兩面カラ攻撃ヲセラタヤ

ウナコトデアリマスガ、兎ニ角ソレハ今丁度塚本サンノ仰シヤルヤウナ思想ガ根據ニナリマシテ、改正ハ一時致シマシタケレド

モ、新シイ制度トシテハ相當穩當ナ所ニ行カウト云フ譯ズ、微溫的デアルト一方ニ於御話ノアツタヤウニ、官ニ居ルヨリハ寧ロ

ヘル所デハ、穩當デアルト思フ所デア、云フヤウナ制度ヲ作リマシタノデス、此ノ場合、即チ他ノ會社ナリ、或ハ銀行ナリヘ勤

業ハ攻撃ハサレマシタケレドモ、吾々ガ考カト思ヒマスガ、御意見ハ如何デスカ

○権貴政府委員 是ハ私モ考ヘテ見マシタノデスガ、確ニ御説ノヤウナコトガ考ヘラレマスノデ、先ノ昭和八年ノ時デアリマシタカ、相當額ノ恩給ヲ貰ツテ居ル者デ、更ニ他ノ方面カラノ收入ガ相當額以上ニナツ

ト云フコトニ致シマシタ、之ヲ吾々ハ多額所得者ノ恩給ト呼ンデ居リマスガ、サウ云フヤウナ改正モ致シマシタ、是ガ不十分デ

タルト云フヤウナ御意見モ一方ニアルト思フヤウナ改正モ致シマシタ、是ガ不十分デ

今後ニ於ケル恩給額ニ對シテ九牛ノ一毛ミ
タヤウデスガ、サウ云フヤウナ所カラ出發
シテ、今ソンナヤウナ程度ニ止マツテ居ル
譯デアリマス

○塙本委員 ソレカラ今日マデ相當高額ナ
恩給ヲ受ケテ居ツテ、自發的ニ辭退セラレ
マシタヤウナ方ハアリマセヌカ、左様ナ人
ハアリマセヌデシタカ

○権員政府委員 私此ノ恩給ノ方ニ關係シ
マシテ約二十年ニナリマスルガ、此ノ間デ
ハ一旦恩給ヲ貰フヤウニナツテ居リナガラ
辭退シタト云フヤウナ人ハ一件シカアリマ
セヌ、所ガソレハ大阪ノ方ニ居リマシタ或
ル癡兵デアツタノデスガ、多少ノソニハ
「トリック」ガアリマシテ、所謂純情カラ出
恩給辭退デハナカツタ、少シ減シテ證書ヲ
書換ヘテ吳レト云フ一部ノ辭退ノ申出、詰
リ證書ヲ新ニショウト云フヤウナコトデア
リマシタカラ、是ハ其ノ例ニナラナイト思
ツテ居リマス、此ノ他ニハ恩給ヲ辭退シタ
ト云フヨトハアリマセヌガ、恩給ヲ請求シ
ナカツタ人ハアリマス、其ノ顯著ナ例ハ軍
神ト謳ハレマス乃木閣下ガソレデアリマス、
爾靈山デ御令息二人ヲ喪ハレテ、親御トシ
テ兩方ノ扶助料ヲ合セテ請求シ得ル立場ニ
アラレタノデアリマスケレドモ、乃木閣下

ハ、自分ハオ上カラ頂戴シテ居ル俸給デ十
分生活ハ出來ルノデアルカラト云フヤウナ
意味デ、ツイ請求ヲナサラナカツタ、是ハ
恩給ガ裁定サレテ後ノ辭退デハアリマセヌ
ケレドモ、是ハ明ナル辭退デアリマス、此
ノ他ニハ著明ナ例ハ覺エテ居リマセヌ
○塙本委員 只今圖ラズモ乃木閣下ノ人格
ノ飽クマデモ高潔ナコトヲ伺ヒマシテ涙ヲ
浮ベマシタノデスガ、今日相當ナ生活ヲシ
テ居リナガラ——今日ノ時局ヲ考ヘマスル
時ニ、モウ少シハサウ云フ人ガアツテ宜イ
ノデハナイカト私ハ考ヘマス、然ルニ未ダ
ニサウ云フ實例ノナイト云フコトニ付キマ
シテハ、私ハ一種言フベカラザル心情ニ打
タレタ者デアリマス、今ノ乃木閣下ノ御話
ヲ承リマシテ、洵ニ感激ニ堪ヘマセヌ
以下少シバカリ此ノ機會ニ細カイコトヲ
通定ム」トシテ、昭和十二年ノ十月ニ陸軍
省ノ告示、海軍省ノ告示トシテ出テ居ルモ
ノナノデス、此ノ制度ハ在來ノ戰役事變ニ
ハアツタノデアリマシテ、其ノ根本ニナル
モノハ、私ハツキリ記憶シテ居リマセヌ
ガ、明治二十八年ノ勅令ト思ヒマスガ、ソ
レニ根據シテ居ルモノデアリマス、其ノ勅
令ガ本デアリマシテ、其ノ後ノハ省告示デ
規定サレテ居リマス、ソレデ是ハ死歿者ニ
ダケ賜與スル一時金デアリマシテ、官等ニ
リマセウカ

○権員政府委員 只今ハ所謂特別賜金ト
云フモノダト思ヒマスガ、是ハ陸軍ト海軍
トデ給與ノ仕方ガ少シ違ツテハ居リマスガ、
アラレタノデアリマスケレドモ、乃木閣下

總計シタ額ハ大體同ジャウニナルト思ヒマ
スガ、給與ノ仕方ガ違ツテ居リマスノデ、
特別賜金ト云フモノノ額自體トシテハ、陸
軍ノ方ガ多ク海軍ノ方ガ少イヤウニ現ハレ
付テノコトヲ御尋デアラウト想像シテ居リ
マス、海軍ノ方ノ關係ニ付キマシテハ、此
處ニ居ラレマス川崎中佐カラ申上げタイト
思ヒマス

○川崎説明員 御話ノ點ハ死歿者特別賜金
ト申シマス、ソレハ死歿者特別賜金賜與規
程ト云フモノニ依ツテ居リマス、「今回ノ支
那事變ニ係ル死歿者特別賜金賜與規程左ノ
通定ム」トシテ、昭和十二年ノ十月ニ陸軍、
馬スル傷痍賜金デアリマスカ

○権員政府委員 恩給法ノ中ニハ全然規定
ハアリマセヌ

○塙本委員 ソレカラ此ノ支那事變ニ依リ
マシテ、相當澤山ナ人ガ拔群ノ勳功ヲ樹テ
ラレテ金鷄勳章ガ授與セラレテ居リマスガ、
其ノ金鷄勳章ヲ授與セラレマシタ數ハドレ
位ニ上ツテ居リマスカ

○権員政府委員 一寸只今金鷄勳章ノ方ノ
數ヲ持ツテ居リマセヌノデ、只今電話デ、
會議ノ濟ムマデニ賞勳局ノ方ニ照會致シマ
シテ申上ゲルコトニ致シマセウ

○高橋委員長 宜シウゴザイマスカ
依リマシテ、又戰死、戰傷死、戰病死、ソ
レカラ事變ニ直接關係アル勤務ニ從事シタ
ガ、アノ恩給金庫ノ成績ノ概要ヲ承ツテ見

タイフデアリマス

○平木政府委員 恩給金庫ハ昨年七月ニ事

業開始致シマシテ以來、貸付口數ニ於キマシテ約三万二千數百件デゴザイマス、其ノ金額ハ三千九百万圓バカリニ相成ツテ居リマス、是ハ昨年十二月マデノ數字デゴザイマス、其ノ内容ヲ申上ゲマスルト、大體舊債ノ借替ガ大部分ニナツテ居リマス、多少新シク貸付ニモナツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、之ヲ一箇月ニ致シテ見マスト五百万圓乃至六百万圓バカリノ金額ニナツテ居リマス、其ノ後今年ノ正月以来ノ狀況モ大體此ノ程度ノ貸付ヲ行ツテ居リマスガ、金額ニ於キマシテモ口數ニ於キマシテモ多少減ツテ居ルノデハナイカト考ヘテ居リマス○塚本委員 此ノ恩給金庫方出來マシテカラ後ニ於キマスル恩給證書ノ再交付デアリマスガ、サウ云フモノニ付テ多少從來トハ變ツタ影響ヲ及ボシテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、十三年中ノモノハマダ集計ハ出來テ居ラナイカト思ヒマスガ、大體分ツテ居リマスナラバ、再交付ノ申請數、交付數、取下或ハ不交付ニナツタモノ、サウ云フモノガ分リマスナラバ承リタイ

○平木政府委員 恩給金庫成立後ノ狀況ハスノハ十三年中ノ數字ガ分ツテ居リマス、其ノ數字ヲ申上ゲマス、證書ノ再交付ニ付キマシテハ、一時非常ニ多數ノ申請ガアリマシタガ、十三年度ニ於キマシテハ恩給金庫設立後、恩給金庫ノ色々ナ斡旋ニ依リマシテ、妥協ガ付キマス場合モアリマシタ關係デアリマスルカ、十三年度ニ於キマシテハ、前年度ニ比較致シマシテ相當減ツタノデアリマス、ソレヲ數字ヲ申上ゲマスルト、申請致シマシタ件數ガ一千五十九件、其ノ中デ再交付致シマシタ件數ガ二百十四件、所ガ此ノ二百十四件ノ中ニハ亡失、毀損致シマシタモノガ百七一件デアリマス、隨ヒマシテ所謂呈示ノ用ニ供スルコトガ困難ナ場合、何ト申シマスルカ、謂ハバ高利貸ノ手ニ入ツテ居ル場合ガ大部分ダト思ヒマスガ、此ノ場合ハ僅ニ四十二件、斯ウ云フ數字ニ相成ツテ居リマス

○塚本委員 私ノ質問ハ是デ終リト致シマスガ、十二年中ノモノハマダ集計ハス○西田委員 一寸簡單ニ……

○高橋委員長 極ク簡単ニ御願致シマス○西田委員 第三十二條ノ改正ノ結果增加スル金額ノ大體見込ガ分ツテ居リマセウカ、アリマス、唯兵ノ人ナラバ、斯ウ云フ加算スカラ、額ニシタラ大シタコトハナイノデシテ、其ノ中ノ一部分ガ辭メル譯デアリマスカラ、額ニシタラ大シタコトハナイノデスカラ、額ニシタラ大シタコトハナイノデスカラ、額ニシタラ大シタコトハナイノデスカラ、恐ラク僕給ヲ配給サ

著シク困難ナル實情ニ在ルヲ以テ」斯ウ書カレテアルノデス、是ハ吾々想像スルニ成程困難ダト思ヒマス、恐ラク僕給ヲ配給サレルニ付テモ困難ガ伴フノデハナイカト思フノデアリマス、是ハ戰地デスカラ已ムヲ得ヌト思ヒマス、吾々ハソレヨリモ寧ロ戰爭ニ際シテ第一線ニ立ツテ居ル人達ニ對シテハ、兵同様ニ此ノ期間免除シテモ宜イヤ

リマシテノ増額デアリマスカ

○西田委員 サウデス

ノデハナイカト思ツテ居リマスガ、具體的数字ハ一寸想像シマシテモ、非常ニ想像ノ分量ガ多イノデ一寸申上ゲ兼ネマス

○西田委員 第五十九條ノ方ノ改正デ、一「パーセント」納金ヲシナイト云フ、此ノ方モ一寸分リ兼ネマスカ

○平木政府委員 是ハ先程申上ゲマシタ通リニ、支那ノ方ニ行ツテ居リマス將兵全部ニヤルカドウカト云フコトモ、マダ最後ノ所ハツキリ致シテ居リマセスカラ分リマセスガ、假ニ全部止ヌルト云フコトニ致シマスレバ、大體陸海軍合セマシテ年額五十万圓カ六十萬圓位ノ範圍内デハナイカト考ヘテ居リマス

○平木政府委員 今ノ第五十九條ノ西田君ノ御質問ニ關聯シマシテ、此ノ改正ノ理由ヲ承ルト、「軍人等公務員ガ、戰地ニ在リテ戰務ニ服スル期間恩給法ニ依ル納金ヲ徵收スルハ

ノデハナイカト思ツテ居リマスガ、是ハ吾々想像スルニ成程困難ダト思ヒマス、恐ラク僕給ヲ配給サレルニ付テモ困難ガ伴フノデハナイカト思フノデアリマス、是ハ戰地デスカラ已ムヲ得ヌト思ヒマス、吾々ハソレヨリモ寧ロ戰爭ニ際シテ第一線ニ立ツテ居ル人達ニ對シテハ、兵同様ニ此ノ期間免除シテモ宜イヤ

ウニ思フノデスガ、此ノ提案ノ理由ハ徵收
ガ困難デアル、斯ウ云フ理由ニナツテ居リ
マス、其ノ邊ノ事情ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイ
○権員政府委員 此ノ本當ノ理由ハ全ク徵
收困難ト云フ方カラ參ツテ居ルノデゴザイ
マシテ、此ノ間陸軍ノ政府委員カラ、陸軍方
面ノ徵收困難ナ事情ヲ申上ダタヤウナ譯ズ、
俸給デモドウモ十分ニ渡シ兼ネル場合ガ多
イ、又ソレヲ差引シマシテ、其ノ現金ヲ日
本銀行ノ方へ段々送ツテ來ルト云フコトニ
ナルト、非常ナ困難ガアリマスノハ此ノ間
申上ダタ通リデアリマスガ、此ノ額ハ今申
上ダマジダヤウニ大體將兵通ジマシテ全部
行クモノトシマシタ所デ五十万圓デアラウ
ト云フコトハ考ヘラレマスガ、サウ云フヤ
ウナ僅カナ金デ、一人當リニシマシタラ俸
給ノ百分ノ一ト云フヤウナコトデ、斯ウ云
フヤウナ所カラ別ニ軍人ヲ優遇スルトカ云
フ意味デ斯ウ云フコトハ致シタクナイノデ
アリマス、ト申シマスルノハ、ドウモ出征ノ將
兵ニ對シマシテノ國民ノ感謝ト云フモノガ、
スウ云フ物質ナンカデ幾ラカデモ滅殺サレ
ルト云フコトノアルコトハ非常ニ好マシク
ナイコトデアリマシテ、固ヨリ國民ノ感謝ハ
ソレ位ノコトデ聊カモ動搖サセラレルモノ
デナイト思ヒマスケレドモ、假令是ダケニ

シテモ、何カサウ云フ所デ僅カナ物質優遇
ヲスルノダト云フコトヲ、國民ガ幾ラカ頭ノ
一角ニデモ置キマスコトハ嬉シクナイノデ
アリマシテ、全ク以テコンナコトヲシナク
テ濟ムナラバシナイデ行キタイ、其ノ他ノ
公務員モ亦國ノ財政ニ對シテ負擔ヲシテ居
ル譯デアリマスカラ、戰時ニ際シテ特ニ困苦
ニ耐ヘテ奮闘セラルルコトハセラルルコト
トシテ、コチラノ納金ハ納金デ國家財政ニ
寄與スルト云フコトハ、國民トシテ變リナ
シニヤルト云フコトニ致シタイ譯ナノデア
リマズガ、今申上ゲマシタヤウナ事情デ、
ソレハ到底事實ニ於テモ十分ニ參リマセヌ
ノデ、此ノ免除ヲシタイト云フコトニ趣旨
ガアリマスノデ、今ノ理由書デモサウ云フ
コトヲ正直ニ書イタヤウナ次第デアリマス
○中野委員 私ハ二三御尋致シタイト思フ
ノデアリマスガ、此ノ事變ニ際シマシテ、
特ニ現職ノ官吏ニ對スル綱紀肅正ニ關シマ
シテハ、總理ヨリモ屢々聲明セラレテ居ルノ
デアリマス、之ニ對シマシテハ國民ガ如何
ニ此ノ官吏ニ對シマシテ或ル期待ヲ持ツテ
居ルカト云フコトハ分ルノデアリマス、其
ノ現職ニ居ラレル官吏ノ方ニ對シマシテハ、
斯様ナ國民ノ各方面カラ色々ナ期待ガ寄セ
ラレテ居ルト云フヤウナ現狀デアリマシテ、

是ハ恩給ト直接關係ガナニヤウデアリマス
ガ、永ク官吏ヲ勤メタソレニ對スル優遇ト
致シマシテ、退職後恩給ヲ頂戴致シマス人
ハ、其ノ戴ク理由ニ付キマシテ濃厚ナ認識
ガナケレバナラヌノデアリマス、若シ其ノ
認識ガ濃厚ニアリマスト致シマスナラバ、
其ノ身ヲ持スル上ニ於テ、只今ノ現狀ハ實ニ
私ハ歎カハシトイ思フノデアリマス、ト申
シマスノハ官吏テ恩給ヲ頂戴致シマス人ハ、
年齢ノ上カラ申シマシテモ相當當ナ年齢ニ達
シテ居ルノデアリマスカラ、所謂長者ニ對
シテ敬意ヲ表スルト云フ日本精神カラ考ヘ
マジテ、年ノ上カラ言ツテモノノオ手本ト
ナラナケレバナラヌ、又物質的デハアリマ
スケレドモ、國家ガサウ云フ優遇ヲスルト
云フ見地カラ致シマシテモ、人ノオ手本ト
ナラナケレバナラヌ、斯様ナ立場ニ居ラレ
ル所ノ恩給ヲ受クル人ハ、眞ニ鄉黨ノ爲ニ
働イテ居ルノデアルカドウカ、晏如トシテ
恩給ニ衣食シテ居ルヤウナ狀態デアルカド
ウカ、又物質ノミニ懂レマシテ、恩給ヲ取
ツタ上ニ更ニ給料ニアリ付ク、其ノ態ガ只
今モ同僚カラ御話ノアリマシタヤウニ、軍
神乃木サンノヤウナ態度ニ出ラレル人ハ唯
僅ニ一人、之ヲ見マシテモ全豹ヲ知ルコト
ガ出來ルノデアリマスガ、其ノ鄉黨ニ盡ス

ト云フ 狀態ハ、此ノ恩給ヲ受ケナイ普通ノ
吾々野ニ在リマス所謂野人ハ、多分鄉黨ノ
世話ヲシテ居ルノデアリマスガ、恩給ヲ戴
イテ居ル人ハ超然トシテ居リマシテ、不平
ハ言フノデス、非難コツ致シマシテ、色々
積極的ニ勵カナイ、斯ウ云フコトハ洵ニ國
家ノ爲ニ平素私共ハ遺憾ニ思ツテ居ルノデ
アリマスルガ、況シヤ今日ノヤウニ上下一體
ニナツテ國事ニ當ラナケレバナラヌト云フ
時ニ於キマシテハ、一段ト其ノ點ニ付テ認
識ヲ深メラレマシテ、現職ニ居ル官吏諸公
ハ首相ノ御話ノ如ク、國民一般ガ期待シテ
居リマスルヤウニ、今少シク、陛下ノ臣デ
アル、斯ウ云フ心掛ガアツテ欲レイノデア
リマス、軍人諸公ハ、陛下ノ軍人デアル、
軍人精神ト云フコトヲ「モットー」トセラレ
マシテ、常ニ上官ノ命令ハ、陛下ノ御命令デ
アルト云フコトニ訓示セラレマシテ、其ノ
勵キ振リガ如何ニモ活キシテ居リマシ
テ、如何ニモ國家ノ爲ニ忠誠ヲ盡サレルノ
デアルト云フコトガアリ、ト國民ノ眼前
ニ展開シテ居ルノデアリマスケレドモ、文
官諸公ノ平素ノ勵キ振リハ、唯月給ヲ取ツ
テハ、時間ヲ潰シテ居レバ宜イト云フヤウ
ナ御考トシカ一般國民カラハ見ラレヌノデ

アリマス、ソレデ年限ガ經ヅテ野ニ下レバ、
只今申シマスヤウナ次第デゴザイマシテ、
所謂陛下ノ臣デアル、斯ウ云フ心掛ガゴ
ザイマセヌカラ、貰フ所ノ俸給、恩給モ、唯
債務者ガ貸シタ金ヲ取ルヤウナ權利義
務ノ觀念コソアリマスケレドモ、是
ハ陛下ヨリ戴ク所ノ祿デアル、國民
ノ膏血ヨリ頂戴スル所ノ祿デアル、是
ハ眞ニ頂戴スルモノデアルト云フ尊イ魂
ト云フモノガ缺ケテ居ルノデアリマス、ソ
コデ恩給ノ事務ヲ御取扱ニナリマスル官吏
諸公ハ、其ノ點ニモツト力ヲ御入レ下サイ
マシテ、今少シ活キ一トシタ精神ヲ以テ、
恩給ヲ受ケル所ノ精神ヲ會得セシムルコト
ニ付テ努力セラレタイト念願シテ居ル次第
デアリマスルガ、其ノ點ニ對シマスル所見
ハ如何デゴザイマセウカ

ドハ終身官デアリマスカラ、割合ニ其ノ方面デ退職後ニ於キマシテモ諸種ノ命令ヲ下シ易イノデアリマスガ、文官ハ御承知ノヤウニ退官致シマスレバ、恩給ノ關係デダケハ繫ツテ居リマスガ、文官關係ニ於テハ全ク官吏デナイト云フヤウナコトカラ、退職官ニ對シテ命令ヲ下シ得ルヤウナ制度ニハ只今ナツテ居リマセヌノデ、非常ニ其ノ點ハヤリニクイ譯デアリマス、命令的ナ、或ハ訓示的ナコトヲ申ス譯ニハ參ラヌヤウナ事情ニナツテ居リマスノデ、サウ云フ爲ニ此ノ點モ餘程考慮シナケレバナラスト存ジテ居リマス、今ノ御趣旨ノ點ハ、確ニ吾々モ事務ニ就テ痛感致シテ居ル譯デアリマス、唯先程才話ノアリマシタ御言葉ノ端ヲ特ニ強クオ聽キシテモ洵ニ恐縮デスガ、實ハ文官モ唯月給ヲ貰ツテ時間ヲ潰シテ居ルト云フヤウナ心組ハ、少ク共若イ官吏ハサウ云フコトデハアリマセヌカラ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウ云フ官吏モ所ニ見受ケマスシ、私等モソレニ對シテ苦々シク感ズルヤウナ譯デアリマシテ、今日ノ此ノ時局ニ對シテハ官吏、殊ニ青年官吏ニ付テハ、夜ヲ日ニ繼イデ實際仕事ニ熱中シテ居リマスノデ、是非其ノ邊ノ所ハ御見直シヲ願ヒタイト存ジマス

○中野委員　此ノ機會ニ不束カナ私ノ経験
デハゴザイマスルガ、只今申シマシタコト
ハ、私ガ多年経験シタ悲シムベキ現象デア
リマス、殊ニサウシタ野ニ下ツテ國家ノ爲
ニ御心配申上ゲルト云フコトノ少イソハ、
高級官吏——高イ恩給ヲ貰ツテ居ル人ニ殊
ニ多イノデアリマス、低イ役目ヲ辭メテ、
僅カノ恩給ヲ貰ツテ居ルヤウナ方ハ、相當
ニ涙グマシク郷黨ノ爲ニ犠牲ヲ拂ツテ居ル
ト云フ例ハ多イノデアリマスルガ、多イ恩
給ヲ貰ツテ居ル人ニ、得テ郷黨ノ爲ニ勵力
ナイ、所謂犠牲的ノ行動ガ少イト云フコト
ガ、サウシタ部面ニ多イノデアリマス、ソ
レカラ是ハ別ニ議論スル譯デハゴザイマセ
スガ、國家ヲ思フ熱情カラ私ハ申上ゲルノ
デアリマスガ、例ヘバ軍隊ガ演習ニ參リマ
シテ宿ノ割當ヲスルト云フ場合デモ、世話
ヲ焼カセルノハ役人デス、一般ハサウシタ
場合ニハ熱心ニ勤イテ吳レマシテ、總テノ
仕事が圓滑ニ参リマスケレドモ、色々ナ理
窟ヲ付ケテ、サウシタ便宜ヲ與ヘルコトニ
付テ厄介ヲ掛ケルノガ官吏デス、是ハ私一
人ダケデナク、他ノ人モ體驗シテ居ルヤウ
ナ次第デアリマシテ、一事方萬事、是デ以
テ其ノ官吏ノ國ニ對スル勤メ方、心ノ置
キドコロガドウデアルカト云フコトガ想像

出來ルト思フノデアリマス、是ハ要スルニ
軍人ガ 陛下ノ軍人デアルト云フコトヲ常ニ
精神カラ離サナイヤウニ、陛下ノ臣アル
アル、吾々ハ 陛下ノ赤子ニ對スル國務ヲ
執ツテ居ルノデアル、之ヲ叩キ込ンデ、心
カラサウ考ヘマシテ、日々ノ仕事ニ向ツテ
居リマシタナラバ、サウシタ間違ヒハ起キ
ヌト思フノデアリマス、是ハ私及ビ他ノ人
ノ多年ノ體驗カラ申ジマスルコトデ、今別段
攻撃センガ爲ニ攻撃スル意味デ申上ゲル譯
デハゴザイマセヌカラ、其ノ點ハ更ニ再検
討下サイマシテ、國家非常時ノ際、デゴザイマ
スカラ、一般國民——吾々ト致シマシテモ一
段ト忠誠ヲ盡スノデアリマスルガ、社會ノ軌
範トナル地位ニ居ラレル、而モ辭メレバ恩
給ヲ戴カレル、斯様ナ官吏ハモウ一步眞劍
ニ御考下サイマシテ、其ノ効キ振リガ國民
ノ眼前ニ展開スルヤウニ私ハ念願スル次第
デアリマス、此ノ事ニ付テハ別段御答辯ハ
要求致シマセヌ

ソレカラモウ一ツハ昭和十一年ノ議會ト、ソレカラ十二年ノ議會デモサウダト
思ツテ居リマスガ、私ノ名儀デ昭和十一年ニハ請願、十二年ニハ建議案トシテ、衆議院デハ採擇ニナツクノハ、巡查ガ或立年限ニ勤メテ、ソレカラ警部補ニナリ恩給年限ニ

達シテ一寸警部ニナツテ、ソコデ辭メテ、元ノ法律ノ下デ恩給ヲ貰フコトニナツタ、其ノ人ガ一二年致シマシテ更ニ警部ニ就任ヲ致シマシテ、ズツト長イ間勤メタノデアリマスガ、其ノ二度目ニ勤メマシタ年限ハ恩給年限ニ達シテ居ナイノデアリマス、ソコデ當時ノ恩給法ニ依リマスト、或ル年限勤メテ辭メテ更ニ勤メタ場合ハ、更ニ前後通算スルト云フ利益ナコトニ規定サレテ居ラナイノデアリマスガ、只今私が申上げマシタ事例ノ分ハ、先ノ法律ニ依ツテ貰フコトニナツタ者ガ更ニ再役ヲ致シマシテモ、ズツト一本調子ニ只今ノ法律ノ如ク、ソレヲ通算ヲ致シマシテ利益ニ取扱ハレルコトニナラナイト妙ナコトデアルカラ、ソレヲズツト一律ニ同様ニ取扱ハレルヤウニト云フ請願、建議デアツタノデアリマスガ、其ノ當時政府ノ方ニ實ハ非公式ニ伺ツテ見マスト、理窟ハ成程ソレガ公平ノ如クデアルガ、サウ云フヤウニ改正スルト影響スル所ガ非常ニ大キイト云フコトデアリマシタ、其ノ際ニ私モサウカトスウ思ツテ居リマシタガ、能ク考ヘテ見マスト、サウシタ實例ハ餘リナインデハナイカシラン、斯ウ思ヒマシテ其ノ他ノ人ニ聽イテ見マシテモ、ソシナ事例ハ全國ニサウアリヤシマイト云フ話

イ
デアリマス、僅カナ數ノ爲ニ面倒ダカラト
云フノモ一ツノ理窟デアリマスガ、實際僅
カナモノデアルニモ拘ラズ、其ノ理窟デ排
斥セズシテ、影響スル所ガ大キイカライケ
ナイノダ、斯ウ云フノデハ一寸理窟ガ合ツ
テ居ラナイノデアリマス、ソコデ丁度斯ウ
云フ機會デアリマスカラ、其ノ點ドウ云フ
風ニ大ナル影響ガアルカ、一ツ御伺ヒシタ

巡査トシテ居ツテモ、退隱料トマデ纏ラナ
イ、辭メテ見タ所デ一時金ニ過ギナイト云
フヤウナ、サウ云フ人々ガ引續イテ恩給法
施行後ニ警部ニナリ、他ノ官吏ニナルト云
フ場合ナラバ年數ヲ通算シテヤラウト云
フ、大キナ方針ヲ現行ノ規定デ取リマシタ、
所ガ其ノ結果ガ最屢ノ引倒シニナリマシテ、
即チ當時ノ退隱料ニナツテ居ツタガ爲ニ却
ツテ損ニナルト云フ場合ガ、少數デスケレ

トデ救フトスレバ、ソレト同ジ立場ニ立ツテ居ル其ノ他ノ官吏公吏等ニ付キマシテモ、同ジ態度出テ行カナケレバナラヌト云フコトガ考ヘラレ、而モソレガサウ大シテ合理性ガ認メラレナイト云フ點ト、兩方カラ參リマシテ、ソレハ殘スト云フコトニ肚ヲ決メマシテ案ヲ立テテ御協贊ヲ願ツタノデアリマス、其ノ時ニモ慥力御質問ガアリマシテ、ソレニ對シテ斯ウ

○権貴政府委員 前段ノ御質問ニ付キマシテハ答辯ヲ求メナイト云フコトデアリマスカラ別ニ申シマセヌデ、後段ノ分ダケニ付テ申上ゲマス、今ノ巡査カラ警部補ニナツテ辭メタトカ、或ハ警部位デ辭メテ——巡査デ辭メテモ同ジコトニナリマスガ、又後ニ警部ニナリ警部補ニ出タト云フヤウナコトハ、大正十二年ノ十月一日ガ現行恩給法ノ施行期日デアリマスガ、ソレヲ跨ギマシタ前後ニ亘リマシテ非常ナ複雑ナ關係ヲ起シテ居ルノデアリマス、ソレデ其ノ當時ニ於キマシテ既ニ巡查ナドシテノ——當時退隱料ト申シテ居リマシタガ、年金ノ纏ツタモノハ恩給法ノ改正ニ依ツテモ、其ノ年金ノ権利ト申シマセウカ、資格ト云フモノヲ無クサシメナイヤウニシヨウト云フコトニ致シマシタ、ソレカラサウデナクテマダ

ドモ起リマシタ、ソレハ色々請願ヤ何カニ
現レテ参リマシテ、何トカシテ吳レト云フ
コトデアリマシタ、ソレデドウモ法律ヲ其
ノ儘ニシテ置キマシテ、解釋デ動カスト云
フ餘地ガナカツタモノデスカラ、昭和八年
ニ恩給法ヲ改正シマシタ時ニ、其ノ附則ノ第
十五條ト云フモノガアリマスガ、ソレニ依
ツテ合理的ニ其ノ場合ヲ解決スルト云フ態
度ニ出マシタ、ソレデ御協贊ヲ仰イデソレ
ガ施行ニナツテ居ル譯デアリマス、ソレデ
大部分ノ場合ガ救濟サレタ譯ナノデアリマ
ス、ソレデモ残ツタ部分ガアル譯デアリマ
スガ、其ノ部分ニ付キマシテハ無論ウツカ
リシテ残シタ譯デモ何デモアリマセヌノ
デ、色々検討シテ、將來ニ向ツテ無論此ノ
時ノ改正ハ致シタ譯デアリマスケレドモ、
今ノ残シタ部分ニ付テハ、之ヲサウ云フコ

云フ事情デアルト云フコトヲ申シタヤウニ
記憶シテ居リマスガ、ソレデ出來上リ マ
シタノガ今ノ制度デアリマス、恩給局ヘ御
問合セノ時ニ、財政上ノ點ヲ顧慮シナケレ
バナラヌカラト云フコトヲ答辯シタト云フ
今ノ御話デアリマスガ、是ダケノ件トスレ
バ、ソレハ大シタ金額デハナイト思ヒマス
ケレドモ、斯ウ云フモノニ類シタヤウナ事
柄、即チ或ル利益ノ部分ダケヲ、合理性ヲ
突破シテモ、受給者ニ利益ナラバ其ノ小サ
イ部分ニマデ利益ヲ認メルト云フ態度ヲ執
リマスト、一般ノ官公吏及ビ軍人等ニ關聯
致シマシテ、非常ニ廣イ範圍ニ同ジヤウナ
ケヲ取上ガレバ金額ニシテモ知レタモノデ
コトヲヤツテ行カナケレバナラヌ、ソレガ
影響スル所ガ非常ニ大キイ、今此ノ場合ダ
アラウト思ヒマスガ、ソレヲ一旦許スト云フ

恩給局ガ由來維持シテ居リマス公平ノ理論ト態度カラ致シマシテ、之ヲ拒ム譯ニ參ラヌ、續々ト或ヘ請願トナリ、法律案トナツテ出テ參ルデアラウト思ヒマス、ソレヲ全部纏ヌマシタナラバ、是ハ金額ニシテ何千萬圓ト云フモノヲ増スヤウナ結果ニナル虞ガアリマス、ソレハ到底堪ヘラレナイト云フ譯デアリマス、サウ云フヤウナ所カラ、是レ自體ハ今ノ御話ノ通リサウ大キイモノデハアリスマスマイト思ヒマスガ、恩給局ニ於キマシテモ財政ニ影響スル所ガ大キイト申上ゲタノダラウト思ヒマス、私恩給局ニ居リマシタ時代ニ――御答シタノハ私デハナカツタノデスガ、サウ云フコトヲ申上ゲタノダラウト今想像致シテ居リマス○中野委員モウ一點伺ツテ見タイト思ヒマス、恩給ヲ貰ツテ居ル人ガ、恩給擔保デ金ヲ借りル其ノ借り方デアリマス、是ハ相當數ニ上ツテ居ルガ、其ノ中デ其ノ借り方ガ不正デ、全ク法律ノ鏡ニ掛ケマシタナラバ立派ナ犯罪デ、而モヤリ口カラ申シマシテモ憎ムベキ事情ノアル借り方ヲシテ居ル、私共サウシタ事例ニハ段々ト遭遇シタコトガアルノデアリマスガ、是ハ此ノ時局

ニ斯ウシタコトヲ申上ゲルノハ如何カト思ヒマスガ、軍人ノ中ニ相當ニ多イノデアリマス、最初カラ監法行爲ニ出マシテ金ラ借リル、サウシテチヤント法律ハ知ツテ居リナガラ借出シテ、アトデ恩給證書ノ取戻ノ訴ヲ起スト云フヤウナ、實ニ下劣以外ニ其ノ罪狀ノ憎ムベキモノヲ含ンデ居ル、サウ云フ件數ガ相當多イ數ヲ占メテ居ルト私共考ヘテ居ルノデスガ、サウ云フコトハ恩給局モ御分リグラウト思ツテ居リマス、ソレニ付テノ對策ト云ツタ所デ、是ハ難カシイ問題グラウト思フノデスガ、其ノ點ニ付テノ御考ハドウ云フ風ニ運バレテ居リマスルカ、其ノ一點ヲ御示シヲ願ツタラ幸ダト思フノデアリマス、モウ一ツハ雇員ノ恩給トシタガ、私モ數年間雇ラシテ居リマスル關係上、雇ノ勤務振りト云フモノヲ知ツテ居ル積リデゴザイマスガ、先ノ御話ニ依リマスト、雇ハ腰ガ据ラヌト云フコトデスガ、ソレハ東京アクリデハサウシタ連中ガ多ダイダラウト思フ、ト云フノハ試験ヲ受ケル爲年限ニ達スルト云フコトハ絶対ニアリマセガアリマス、サウ云フ腰ノ据ラヌ入ガ恩給ニ一寸雇ニ腰掛ケニ入ツテ居ルト云フ連中ヌカラ、恩給法ヲ中心トシテ議論ヲ致シマ

スル時ニハ、腰ガ据ラヌト云フコトハ私ハ
議論ニナラナイト思フ、或ル一定ノ年限ヲ
勤メタ者ニ恩給ヲヤラヌト云フコトハ理窟
ニ合ハヌデヤナイカト云フ議論ハ、ヤハリ
残ル問題デゴザイマス、雇及ビ小使デアリ
マスガ、是ニハ年限ハ長クスルト云フ必要
ハアルト思フ、ト云フノハ小使デアリマシ
テモ雇デアリマシテモ、向上心ニ依リマシ
テ上ニ段々ト上ツテ貴ハナケレバナラナイ、
唯僅カナ給料ニ甘ンジ、僅カナ恩給ニ戀々
トシテ居ルト云フヤウナ精神ヲ助長スルト
云フヤウナコトハ避ケナケレバナラヌカ
ラ、年限ヲ長クスルコトハ必要デアリマスル
ガ、長ク小使ヲ勤メ、長ク雇ヲ忠實ニ勤メタト
云フ者ニ對シマシテハ、ヤハリ恩給ヲ興ヘル
ト云フコトガ至當デヤナイカ、斯様ニ實ハ
考ヘテ居リマス、ト云フノハ長ク實際官廳
ノ雇ヲ勤メ、小使ヲ勤メテ居ルヤウナ人ハ
大抵善良ナル者デゴザイマシテ、仕事コソ違
釘トナリ、楔トナルノデ、ソレガ能クヤル
カラ仕事ガ旨ク行クノデゴザイマシテ、ソ
レニ代ヘルノニ腰ノ据ラヌ雇トカ小使バカ
リデゴザイマシタラ、所謂役所ノ仕事ト云
フモノハ旨ク行クモノデヤナイ、小使ヤ雇
ガ氣ガ利イテ長ク勤メテ、所謂其ノ官廳ノ

主トモ言フベキ者ガ居リマシテヤツテ吳レバコソ、其ノ仕事ノ實ガ舉ルト私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、今一應其ノ點ニ付テノ御考ヲ伺ヒマス、先ニハ腰ノ据ラヌモノガカラト云フヤウナコトデシタガ、其ノ點質大分見解ガ違ヒマス、寧ロ雇トカ小使ト云フモノニナリマスレバ、上役カラ睨マレテハ自分ノ地位ニ關係致シマスカラ、私共ノ經驗デ、ドウシタツテ上役ガ居ル間ハ退廳スルト云フコトハナイト思ヒマス、東京ナドニ住ンデ居ル人デ試験勉強ノ爲ニ入ツテ居ルト云フヤウナ人ハ、ソコデイケナケレバ又何處カニ變ツテ行クト云フヤウニ、心ニ賴リガアリマスガ、東京ヲ離レタ田舎ニハサウ云フコトハ斷ジテナイト思フ、其ノ點ニ付テ今一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

ヲ之對ニシテ、所謂證書使用ガ困難ナ爲メ
ノ再交付ノ件數ガ件數ガ割合ニ少イト云フ
コトヲ申上ガタ譯デアリマスガ、其ノ件數
ハ少イ、求メラレテ居ル通リニ與ヘナイ、
約五分ノ一位與ヘタト先刻件數ヲ申上ガマ
シタムデスガ、ソレ等ノ者ニハ餘程手心ヲ
致シテ居ル譯デス、金貸ノ方ニ隨分ト見兼
ネル非常ニ酷イノガアルト同時ニ、借リル
方ニ、初メカラ是ハ詐欺ノ目的デ借リテ居
ルノデヤナイカト云ラヤウナコトヲ考ヘラ
レルノガ相當アリマス、恩給局ハ詐欺ノ手
先ニナルベキデハナイト云フ主張ノ下カ
ラ、サウ云フヤウナ事情ノハツキリ致シマ
シタモノニ付テハ、再交付ヲ致シテ居ラナ
カツタヤウナ事情デアリマス、サウ云フヤ
ウナ所カラ多少統制ハ致シテ居ル次第デア
リマス

ガ、景氣ガ再び好クナルトサツト他ニ轉ジテシマフト云フコトニ付キマシテハ、懇トカラ來ル結果デモアリマセウ、先程塚本サンガ、條件サヘ好ケレバ同ジニナルヂヤナイカ、其ノ條件ガ違ツテ居ルカラサウ云フコトニナルト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、結果カラ見レバ確ニサウ云フコトハアルト思ヒマス、雇員ノ人ノ動キハ非常ニ自由デアルノデアリマス、都會ト地方トニ依ツテ、又其ノ外部ニ於ケル景氣ノ好シ惡シト云フヤウナコトニ依ルノデアリマシテ、一様ニ何レトハ申セマセヌガ、全體カラ通觀シテ見タラマダ官吏ノ方ガ尻ノ坐リガ宜イノデハナイカ、尻ノ坐リダケデ恩給ノコトヲ考ヘルベキデハ無論ナイノデスガ、一ツノ要素トシテ申上ゲタノデアリマス、サウ云フヤウナコトモ考ヘラレハシナイカト云フヤウナコトガ、先年議論ヲ致シマシタ時ニ現ハレタ一ツノ議論デアツタノデアリマス、兎ニ角前年モ之ヲ議題ニ取上ゲマシテ、相當長イ間論議ヲシタヤウナ譯デアリマスカラ、是ハ全然理由ナシ、全ク理由アリトドチラニ問題ヲ残サズニ、又當時ニ於キマシテモ問題ニナラズニ來タモノダト思ヒマスガ、兩

面トモニ理由ガ相當主張出來ルヤウナコト
デアツタ爲ニ、隨て議題ニモナリ、又論議
モサレタト云フコトニナル譯デアリマス、
只今色々御聽キ致シマシタヤウナ事情モ篤
ト考慮致シテ置キマシテ、後ノ立法ナドニ
當リマシテモ参考ニ致シタイト云フ積リデ
居リマスガ、先程ノ塚本サンノ御話ナドモ
同時ニ加ヘマシテ念頭ニ存シテ、何カノ機
會ニハ十分資料ニシタイト云フ考ハ持ツテ
居リマス、只今トシテ差當リハドウモ之ニ
對シテ恩給法デ規律シテ行カウト云フ考ハ
アリマセヌ、別途ノ今日存在シテ居ル共濟
組合ト云フヤウナモノデ考ヘテ行ツタ方ガ
宜イデハナイカト今日ハ考ヘテ居リマス
尙ホ今ノ御質問トハ少シ離レルノデアリ
マスガ、先程齋藤サンカラノ御尋デゴザイ
マシタカ、金鶴勳章ノ數字ガ今届イタノデゴ
ザイマスガ、三月八日現在ニ於キマシテ、
今マデ金鶴勳章ヲ下賜セラレタ者ガ三万三千
二百八人デゴザイマス、此ノ内譯ハ一寸
申上ゲ兼ネマスノデ、恩賞ニ與リマシタ人
數ダケノ所デ御諒承願ヒタイト思ヒマス
ソレカラ先程四十歳未満ノ者ノ恩給停止
ノ人員ニ付テノ御尋ガ、塚本サンデシタカ
アリマシタガ、只今ノ所調査ノ付キマシタ
最近ノ人數ハ百二人デゴザイマス、ソレカ

○高橋委員長 粟藤君ニ申上ゲマスガ、先刻御要求ノ厚生ノ政府委員ガ見エマシタカラ、御質疑ガアレバ御發言ヲ願ヒマス
○齋藤委員 吾々恩給法改正案ノ審議ニ當リマシテ、今回ノ改正ノ趣旨ハ事變ニ伴フモノデアリマス、吾々モ事變ニ伴フ觀點力ラ審議ヲ致スコトガ適當ト思ツテ、其ノ方針デ審議ヲ進メテ居ル次第デアリマス、恩給法以外三戦死者遺族ノ保護ニ對スル對策、又傷兵保護ニ對スル各種ノ對策、是ハ先年來政府ガ行ヒツツアル所デアリマシテ、ソレ等ノ件ニ付テ現今ノ狀況等ヲ出來ルダケ詳細ニ承ルト云フコトガ、今回此ノ改正法律案ヲ審議スル上ニ非常ニ参考ニナリマスカラ、ソレ等ノ御説明ヲ得タイト存ジマス
○藤原政府委員 只今齋藤サンノ御尋ノ傷兵保護對策ノ事柄ニ付キマシテ、現在傷兵保護院デ計畫ヲシ、實施ヲ致シテ居リマスルコトニ付テ極ク大體ヲ申上ゲタイト思ヒマス、傷兵ノ保護對策ト致シマシテハ、非常ニ多岐各般ニ岐レルノデアリマスガ、之ヲ御説明申上ゲマス便宜ト致シマシテ、事項別ニ分割シテ申上ゲタ方が宜シカラウト存ズルノデアリマス、先づ第一ニハ醫療ノ保護ノ施設デゴザイマス、第二ハ職業ノ保

譲ノ旅説、第三ハ傷痍軍人ノ待遇ニ關ス
ル施設デアリマス、第四ト致シマシテ傷痍
軍人竝ニ一般ノ國民ノ側ニ對スル教養、教
化ト云フ事項デゴザイマス、大別致シマス
ト、斯様ナ四種類ニ分割シテ申上ゲルコト
ガ出来ルノデアリマス

テハ、如何ナルコトヲ計畫シ、實施シテ居ル
カト申上ゲマスト、是ハ直接國立ノ療養所
計畫ヲ以テ、只今其ノ計畫ノ建物ノ建設中
ニ大部属シテ居ルノデアリマシテ、既ニ
其ノ一部ノモノハ出來上ツテ患者ノ收容、
ヲ始メテ居ルモノモアルノデアリマス、其
ノ内容ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、結核ノ療
養所ヲ全國ニ二十五箇所造ルノデゴザイマ
ス、更ニ温泉ノ療養所ヲ十箇所造ルノデア
リマスガ、其ノ温泉ノ療養所ト申シマスモ
ノハ、傷痍ヲ受ケマシテ、其ノ傷痍ハ陸海
軍ノ病院ニ於キマシテソレドヽ治療ヲ加ヘ
ラレマシテ、陸海軍病院ヲ退院致シマス時
ニ、ソレドヽ其ノ症狀ハ固定ヲ致スノデアリ
マス、サウシテ除役若タハ召集解除等ニナ
ミ依ツテ、殊ニ冬季等ニ於キマシテハ關節

アルノデアリマス、是等ノ人ニ對シマシテ、ソレニ依ツテ湯泉ノ療養所ヲ設ケマシテ、ソレニ依ツテ居ルノデアリマス、尙ホ精神障害者ノ爲ニ精神療養所ヲ一箇所設クルコトニ致シテ居ルノデアリマス、更ニ此ノ精神療養所ニ付キマシテハ、明年度ニ於キマシテ一箇所増設ノ豫定ヲ以チマシテ、只今議會ニ豫算ガ提案サレテ居ルノデアリマス、ソレカラシテ、是ハ國立ノ療養所ニ入所スルコトガ其ノ醫療ノ保護ノ一ツト致シマシテ委託療養ト云フ方法ヲ實施致シテ居ルノデアリマシテ、是ハ國立ノ療養所ニ入所スルコトガ困難ナル事情ニアリマスル者若クハ國立ノ療養所ノ收容力ニ超過シテ收容シ切レナイト云フヤウナモノニ對シマシテ、公私立ノ病院デアリマスルトカ、或ハ温泉旅館等ニ委託ヲ致シマシテ、其ノ療養費ヲ國ニ於テ支辨ヲスルト云フ内容ノ方法デゴザイマス、尙ホ此ノ外ニ自宅療養ト云フモノヲ實施シテ居ルノデアリマス、是ハ傳染性ノ疾患デナイ病氣ニ對シマシテ、自宅ニ於テ療養ヲ加ヘル、サウシテ附近ノ醫師ニ依ツテ手當ヲ受ケシヌル、其ノ經費ヲ國庫デ支辨ヲスルト云フ方法デゴザイマス

ノ傷痍疾病ノ程度ニ應ジマシテ、退院ノ後適當ナル方面ノ職業ト云フコトヲ研究ヲシマシテ、適切ナル職業ノ指導ヲ致ス、サウンシ退院後ニ於キマシテソレド其ノ職業ノ就職ニ幹旋ヲ致ス、又就職後ニ於キマシテモ事業主ト連絡ヲ持チマシテ就職後ノ補導ヲスル、斯様ナ計畫ヲ以テ當ツテ居ルノデアリマシテ、是ガ爲ニ地方廳ニ職業ノ指導ノ爲ノ専務職員ヲ配置致シテ居ルノデアリマス、又傷兵保護院ニ此ノ方面ノ専門家、權威者ヲ職業顧問トシテ囑託ヲ致シテ居ルト云フ状況ニナツテ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ此ノ職業ノ指導ノ方針ト云フコトニ付キマシテハ、成ベク入營若クハ召集前ノ職業ニ復歸セシメル、言換ヘレバ原職ニ復歸シセムルト云フコトヲ根本ノ方針ト致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ身心ノ缺陷ノ爲ニ、元ノ職業ニ必ズシモ復歸スルト云フコトガ困難デアルト云フ場合ガ多々アルノデゴザイマス、其ノ爲ニ特ニ更ニ其ノ人ニ向ツテ適當ナル職業ニ就職スル爲ノ準備教育、言換ヘレバ職業ノ再教育ヲ行フト云フ必要ガアルノデアリマス、其ノ爲ニ國立ノ傷痍軍人職業補導所ト云フモノヲ計畫致

シテ居ルノテアリマス、是ハ大阪ト福岡ノ二箇所ニ合計四百人ノ者ヲ收容セシムルト云フ計畫デ、只今施設物ノ建設中デゴザイマス、此ノ外東京ニ對シマシテハ財團法人啓成社ニ國庫ヨリ補助金ヲ交付致シマシテ、特ニ傷痍軍人ノ爲ノ施設ヲ擴張セシムルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、更ニ職業ノ再教育ノ施設ト致シマシテハ是ノミテ以チマシテハ不十分デゴザイマスノデ、全國ノ各道府縣ニ向ツテ國庫ヨリ補助金ヲ交付致シマシテ、道府縣ノ施設トシテ簡易ナル、而モ其ノ地方ノ特色ノアル職業ノ再教育ノ施設ヲ行ハシメルト云フコトニ致シテ居ルノデゴザイマス、尙ホ此ノ外職業ノ事柄ニ付キマシテハ、職業ノ爲ニ更ニ特定ノ學校或ハ工場等ニ對シマシテ、再教育ノ爲ニ入學入所スルト云フヤウナ必要ガアリマスルノデ、ソレ等ノ者ニ對シテハ學資給與ヲ致シマシテ、其ノ教育ヲ受ケシメルト云フ途ヲ開イテ居ルノデアリマス、尙ホ又傷痍軍人ノ職業ニ就職シ、就業致シマスル爲ニ必要ナ作業義手義足ト云フヤウナモノヲ支給スルト云フ計畫ニナツテ居ルノデアリマス、又事業主ニ對シマシテハ、成ルベク傷痍軍人ヲ使ツテ貰フヤウニ慾憇ヲ致シマス、同時ニ其ノ爲ニ或ル程度工場ノ設備

ヲ變ヘナケレバナラスト云フヤウナ必要ニ
迫ラレル場合ニ對シテ、工場主ニ於テ其ノ傷痍
軍人ニ適スルヤウニ設備ノ一部ヲ改善スルト
云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、此ノ作業設備
改善ノ爲ニ國庫ヨリ補助金ヲ出スト云フヤウナ
方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス、尙ホ傷痍軍人
ガ自ラ營業ヲ營ムト云フ爲ニ、所謂生業資金
ト云フモノガ必要デアリマス場合ニハ、傷
痍軍人ノ生產ノ爲ノ資金ヲ貸付融通スル
云フ途ヲ開イテ居ルノデアリマス、是ハ此
ノ頃出來マシタ恩賜財團軍人援護會ト云フ
モノニ對シテ、國庫ヨリ補助金ヲ交付致シ
マシテ、其ノ援護會ノ事業トシテ之ヲ行ハ
シヌルコトニ致シテ居ルノデアリマス、其
ノ外特殊ノ傷痍軍人ニ對スル保護施設ト致
シマシテ失明軍人、即チ兩眼ノ失明軍人ニ
對シマシテ失明軍人寮及び是ノ教育所ト云
フモノヲ東京ニ設ケマシテ、是等ノ人ニ對
シテ、生活ガ一變致シマスノデ其ノ一變シ
タ生活ノ不自由ヲ防グ爲ニ色々訓練ヲシ、
又精神上ノ慰安指導ヲ行フト同時ニ、職業
上ノ教育ヲ施スト云フ意味ヲ以チマシテ、
失明傷痍軍人ノ施設ヲ行ツテ居ルノデアリ
マス、大體是ガ職業ノ保護ニ關スル對策デ

次ニ傷痍軍人ノ優遇或ハ名譽表彰ト云フ
是ハ特ニ國家ニ非常ナ功勞者タル所ノ傷痍
軍人ニ對シマシテハ、其ノ名譽ヲ出來得ル
限り表彰スル途ヲ講ジナケレバナラヌノデ
アリマシテ、其ノ趣旨ヲ以チマシテ全國ノ
傷痍軍人ノ門戸ニ標識ヲ一樣ニ附ケルトカ、
或ハ傷痍軍人ノ記章ヲ改正ガ今回行ハレマ
シテ、其ノ記章ヲ地方長官ノ手ヨリ莊嚴ナ
ル式典ヲ行ツテ傳達ヲセシムルト云フヤウ
ナ方法ヲ講ジタノデアリマス、尙ホ又色々
ノ公式ノ會合等ノ場合ニ於キマシテ、傷痍
軍人ノ爲ニ特別ニ席ヲ設ケテ參列ノ機會ヲ
與ヘルト云フヤウナコトニ、各地方長官ニ
措置ヲ講ジテ貰フヤウ、ソレヽ通達シテ
居ルノデアリマス、尙ホ傷痍軍人ノ優遇ニ
付キマシテハ、國ノ施設、或ハ公共團體等
ノ公ノ施設ノ中デ、例ヘバ文化ノ爲ノ施設
デアルトカ、或ハ慰安ノ施設デアルトカ、
各種ノ施設ガゴザイマスガ、ソレ等ニ對シ
テ特ニ傷痍軍人ニ無料利用ノ途ヲ講ジ、或
ハ國有鐵道ノ無賃乗車デアルトカ、公共團
體經營ノ電車ノ「バス」デアルトカ、色々
方面ニ於テノ優遇ノ途ヲソレヽ關係ノ各
省ニ配慮ヲ願ヒマシテ講ジテ居リ、又從來
ヨリモ擴大ヲ致シタモノモアルノデアリマ

マシテハ、特ニ傷痍軍人ニ對シテ優先的ナ
ア、政府ノ認可、許可ヲ要スル事項ニ付キ
取扱ヲ爲スト云フヤウナコトモ多々アルノ
アアリマス、是等ハ大體政府若クハ公共團
體ニ於テ行ツテ居リマスル保護優遇ノ施設
テゴザイマスガ、是ト同時ニ傷痍軍人ノ保
護ト致シマシテハ、政府ノ施設ト相俟ツテ、
團體ノ施設トシテ、傷痍軍人ニ對スル保護
ノ徹底ヲ期スル必要ガアルノデゴザイマシ
テ、其ノ爲ニ今日デハ恩賜財團軍人援護會
ト云フ有力ナ軍人援護ノ團體ガ設立ヲ見テ
居リマス、此ノ團體ニ、此ノ方面ノ民間ノ
ノ修養ノ團體デアリマシテ、大日本傷痍軍
人會ト云フモノガゴザイマス、是ノ活動ニ
依リマシテ、傷痍軍人ノ主トシテ修養ノ方
面ノ團體トシテ施設ヲ行ツテ居ルヤウナ狀
況デアリマス

サウ云フ意味カラ致シマシテ、傷痍軍人ニ
對スル精神指導ト云フコトニ、政府ト致シ
マシテハ重點ヲ置イテ居ルノデアリマス、
尙ホ一面一般國民ニ對スル教化ト云フコト
ガ又大切デアリマス、今日デハ傷痍軍人ニ
對スル國民ノ感謝ノ熱情ト云フモノハ、洵
ニ溢レルバカリノ状況デアリマシテ、今日
ニ於キマシテハ別段心配ハナイノデアリマ
スガ、從來ノ經驗ニ依リマスト、年ヲ經ル
ト共ニ其ノ熱情ガ段々冷メテ來ル、ソコニ
亦傷痍軍人ノ側ニ於キマシテモ非常ニ心理
状況ニ變化ヲ來スト云フヤウナ關係ガゴザ
イマスノデ、國民ノ感謝ノ熱情ヲ永ク傷痍
軍人ニ對シテ存續セシムル、又國民各層ノ
人々ガソレハノ立場ニ於テ、傷痍軍人ガ
再び起ツテ國家ニ御奉公ヲスルコトニ對シ
テ協力支援スルト云フ氣持ヲ徹底セシムル
ヤウニ、國民ノ教化ニモ努力ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、以上大要申上ゲマシタ次第
デアリマス、

ハ相當多イト思フノデアリマズガ、其ノ數ヲ承ルコトガ出來レバ承リタイ、又承ルコトガ出來ナケレバ、他ノ疾病等ニ比較シテドンナ比率ニナツテ居ルカ、ソレヲ承リタ

○藤原政府委員 只今ノ數ノ問題ハ今日發表スルコトガ出來ナイノデアリマス、比率

御承知ノ通り今日事變ノ過程ニアリマス
ニ日々動クノニアリマス、大體ノ今日マデ
ノ數ハ實ハ分ツテ居ルノニアリマス、但シ
其ノ病氣ニ對スル比率ノ問題ニ付キマシテ
ハ非常ニ調ガ困難ニアリマシテ、詳シイ調
ガマダ出來テ居リマセヌ、ソコデ此ノ問題
ニ付キマシテハ只今申上ゲルコトガ出來ナ
イノデアリマス

○齋藤委員 下ウモ此ノ程度ノコトハ祕密ニサレル必要ハナイト思ヒマス、是ハ大體疾病者ノ數ガ分ラケレバ御方針ガ立タヌ筈デアリマスカラ、結核ガ他ノ疾病ニ對シテ約一割見當、サウスレバ幾人收容スル所ノ病院ヲ幾ツ造ル、斯ウ云フコトハソレデ初メテ案ガ立ツ譯デアル、併シ御尋シテモ御答ガ出來ヌト言ハルレバ仕方ナイデスガ、所デ此ノ結核トカ其ノ他ノ疾病デモ同様デスケレドモ、是ハドウ云フ御方針デス

カ、應召シテ病氣ニ罹ツタ、ソレヲ全快サ
シテ再ビ戰線ニ送ル、是ハモウ第一義ダト
思フノデスケレドモ、或ハ兵役ヲ免除サレ
ルヤウナ人ニ對シテハ全快ヲサシテ郷里ニ
歸ス、尤モ是ハ兵役ニハ適セヌヤウナ者ノ

コトデスガ、サウ云フ御方針ダラウト思フ
ノデスガ、結核ナドニ罹ツタ人ハ、恩給ニ

八 戰病者ニ對スル御取扱ハドウナリマスカソレヲ承リタイ

恩給法デ言ヒマスレバ増加恩給ニナル譯デ
アリマス、結核ガ果シテ公務ニ基因スルカ、
或ハ其ノ他ニ原因スルノカ、此ノ區別ハ非
常ニ難カシイモノデアリマス、其ノ爲ニ一般
的ニハ——一般的ト申シマスノハ、内地デ

アリマストカ、或ハ普通ノ公務員デアルト
カ、サウ云フ意味デアリマスガ、一般的ニ
ハサウ云フ因果關係ノ判断ガ困難デアリマ
スルカラ、假令結核ニ罹リマシテモ、公務
上ノ傷痍トハ認メテ居リマセヌ、唯滿洲事
變或ハ今度ノ事變等ニ於キマシテハ、サウ
云フモノヲ大體增加恩給ニ該當スルト云フ
コトニ取扱ツテ行ク方針ニナツテ居リマス
○齋藤委員 ソレハ增加恩給ト云フコトデ
スガ、結核ヲ例ニ引キマシタケレドモ、結

核バカリデハナイト思ヒマス、應召シテ入
營ヲスル、サウシテ直チニ結核ニナルト
カ、或ハ其ノ他ノ疾病ニ冒サレタ、サウ云
フ者ハヤハリサウ云フ御取扱ニナツテ居マ
スカ

○平木政府委員 其ノ病氣ニ依ルノデアリ
マシテ、只今ハ結核ノ場合ヲ申上ゲタノデ

リマスカラ、一概ニ如何ナル病氣ニ罹ツテ
モ總テ之ヲ公務上ノ傷痍ト認メルカドウカ
ト云フコトハ申上ゲニクイノデアリマス

○齋藤委員 結核ハドウデスカ
○平木政府委員 結核ノ場合ニハ、公務上
デナイト云フ理由デモハツキリシテ居レバ
公務上デナイト云フコトニシマスケレドモ、
ソレ以外ノ場合ニ於キマシテハ、公務上ノ

ス
傷痍ト云フ風ニ取扱フ方針ニナツテ居リマ
○齋藤委員 何カ入院シテカラノ期間ニ制
限ガアリマセヌカ、或ハ入營ヲシテ一箇月經
タナクテハイカストカ、二箇月後發病シタ
トカ、サウ云フヤウナ制限ハアリマセヌカ
○権貴政府委員 別ニ期間ニ制限ハ置キマ
セヌケレドモ、例ヘバ入營シテ即日結核デ
ヒドイ狀態ニナツタド云フノハ、ソレハ勤
メタカラ結核ニナツタト云フヤウニハ考ヘ

ラレマセヌノデ、勤務ト病氣トノ間ニ長イ期間ガナイ場合ニハ、サウ云フ極端ナ短イモノニナリマスト、是ハ公務ニ基因シタトハ言ヘマセヌ、併シ別ニ期間デ幾ラヽ經ツテカラデナケレバ、イケナイト云フ、サウ

云フ制限ハアリマセヌ
○齋藤委員 私ハアルヤウニ聞イテ居リマ

核等ノ如キハ、激務ノ爲ニ潜伏シテ居ルモノガ發病スルノデアリマスカラ、ヤハリ公務ニ基因シタルモノト認メラルルノガ穩當

ダラウト思フ、相當數ガ多カラウト思ヒマスカラ、是ハ患者タル軍人ニ利益ノヤウニ解釋サレルノガ穩當デハナイカト思ヒマス、ソレカラ二十五箇所ト云フノヲ、一寸場所ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○藤原政府委員 二十五箇所ハ、北海道、
青森、秋田、新潟、宮城、東京、千葉、愛
知、長野、石川、三重、福井、京都、神奈
川、大阪、兵庫、廣島、岡山、鳥根、徳島、
愛媛、福岡、佐賀、宮崎、鹿兒島デゴザイ
マス、其ノ中デ既ニ全部若クハ一部出來上
リマシテ開設致シテ居リマスモノハ千葉、
愛知、岡山、福岡、廣島、宮城、長野、石
川、京都ト云フ箇所デゴザイマス

ハ何時マデ掛ルノデスカ、ソレカラ各一箇所ノ收容人員ガ違フノデスカ

○藤原政府委員 此ノ二十五箇所ノ建設

ハ、マダハツキリシタ竣工ノ時期ヲ申上ゲ

ル譯ニモ參リマセヌケレドモ、大體ノ豫定

ト致シマシテハ、此ノ秋マデニ全部出來上

ル豫定デ、只今建設ヲ進メテ居ルノデゴザ

イマス、サウジテ其ノ收容ノ定員ハ必ズシ

モ一律デハゴザイマセヌ、最モ大キイ東京

大阪ハ千人ノ收容ニアリマス、其ノ他五百

人ノ收容ノモノガ十七箇所、四百人ノ收容

ノモノガ二箇所、三百人收容ノモノガ四箇

所ト云フ數ニナツテ居ルノデゴザイマス

○齋藤委員 先刻一寸御尋シタノニ御答辯

ガ漏レテ居ルノデスガ、結核療養所ノ方針

ハ癒シテ歸スト云フノデスカ、或ハ自宅ニ

歸ルヤウニナレバ歸スト云フノデスカ、是

ハ中々永イ病氣デスカラ、相當長イ期間病

院ニ居ラナケレバナラスト思ヒマスガ、ソ

リマス、左様ナ意味デアリマスルカラ、ハ

ツキリ確定デナイト云フコトダケハ御諒承

願ツテ置キタイノデアリマス、大體一世帶

ト申シマスカニ貸付ケマスル金額ノ限度ハ五百圓ヲ以テ最高トスル、ソシテ貸付ケマスル場合ノ條件ハ、無論人的信用ト云フコトニ依ツテ貸付ケル、而モソレハ特別ニ保

證人等ノ方法ヲ成ベク採ラナイデ、貸付ヲ致方針デアリマス

○齋藤委員 ソレヲ承ツテ大變安心ヲ致シ

マシタ、其ノ次ニ御伺致シタイノハ、生業資金ヲ恩賜財團軍人援護會ヲ通ジテ貸與ス

ラ此ノ援護會ニ所要ノ金額ヲ交付シテ、此

ノ援護會ノ責任ヲ以テ生業資金ヲ貸シ與ヘ

ル、斯ウ云フコトニナルノダト想像致シマ

ス、是ハ其ノ金額ニ於テ凡ソドレ位ノ金額ヲ貸シ與ヘラレルカ、或ハ保證人トカ何ト

カ云フ者ガ必要デアリマセウカ、サウ云フ

コトヲ概略御分リニナツテ居ル所ヲ承リタ

イ

○藤原政府委員 生業資金ニ付キマシテハ

先刻申上ゲマシタ通り、恩賜財團ヲ通ジテ融通ヲ致ス豫定ニ致シテ居リマスノデ、目

下其ノ融通ヲシマスル場合ノ條件等ニ付キ

マシテハ、恩賜財團ト折衝中デゴザイマシ

テ、未ダ確定ヲ致シテ居リマセヌケレド

モ、大體ノ見込ヲ申上ゲテ置キタイノデア

リマス、左様ナ意味デアリマスルカラ、ハ

ツキリ確定デナイト云フコトダケハ御諒承

願ツテ置キタイノデアリマス、大體一世帶

ト申シマスカニ貸付ケマスル金額ノ限度ハ五百圓ヲ以テ最高トスル、ソシテ貸付ケマ

スル場合ノ條件ハ、無論人的信用ト云フコトニ依ツテ貸付ケル、而モソレハ特別ニ保

證人等ノ方法ヲ成ベク採ラナイデ、貸付ヲ致

シマスル場合ニ携ハル關係ノ人達デ、其ノ

生業資金ヲ貸シマスコトニ依ツテ傷痍軍人

ガ行ヒマスル生業方面ノ見透シ、又ソレノ

確實性、ソレカラソレガ果シテ此ノ人ニ適

スルヤ否ヤト云フヤウナ事柄ニ付キマシテ

十分ニ調査ヲ致シマシテ、其ノ邊デ指導ノ

マシテノ御尋デゴザイマスガ、是モ前ト同

徹底ヲ期スルヤウニシテ、貸付ノ條件ハ成

ベク寛大イニ致シタイト云フ方針デゴザイ

マス

○齋藤委員 五百圓ト云フコトハ如何ニモ

少イヤウニ思フノデスガ、是ハ豫算ノ總額

ノ關係等無論オアリノコトト思ヒマス、今

日五百圓ヲ以テ其ノ生業ヲ再興スルト云フ

ヤウナコトハ到底出來ヌノデアリマスカラ、

是ハモツト増額セラレルヤウニ御考慮ヲ願

ヒタイト希望致シマス

失明軍人ノコトニ付テ御尋致シマス、是

ハ數ハヤハリ祕密デスカ、生業、生活狀態

ガ一變スルノデスカラ、私ハ斯ウ云フ人ハ

非常ニ氣ノ毒ダト思フ、是ハ全體傷痍軍人

諸君ニハ非常ニ御氣ノ毒ナノデアリマスケ

レドモ、殊ニ兩眼ヲ失ハレタヤウナ人ニハ

コトヲ御尋致シマスト時間ヲ空費致シマスカラ、失明軍人ニ對スル指導ノ方針ヲ承ツテ、全體ノ御方針ヲ忖度シタイト思フノデアリマス、出來ルダケ詳細ニ承リタイト思ヒマス

○藤原政府委員 失明傷痍軍人ノ數ニ付キマシテノ御尋デゴザイマスガ、是モ前ト同様ニ申上ゲルコトハ差控ヘタイト思ヒマス、失明軍人ノ保護トシテ先刻大略ノコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、失明軍人ニ對シマスル保護ハ、只今モ御話ノアリマシタヤウニ、急激ニ兩眼ヲ失ツタ爲ニ生活ガ一變致スノデアリマシテ、其ノ爲ニ精神的ニモ非常ナル衝擊ヲ受ケテ、人生ノ將來ニ全く光明ヲ失フト云フヤウナコトニナリ易イノデアリマス、左様ナ點ニ付キマシテ精神的慰安ヲ與ヘ、サウシテ今後努力ヲサレルニ於テハ、再び社會人トシテ立派ニ活動ヲシ得ル途ガアルト云フヤウナ點ニ付テノ精神指導モ行ヒ、又生活ノ一變シタコトニ對シテノ新シイ生活ノ訓育ト、盲人生活トシテノ訓育、訓練ヲスルト云フコトヲ一面ニ於テ考ヘテ居ルノデアリマシテ、左様ナ意味デ失明軍人ノ爲ノ寮ヲ造リマシテ、其處ニ於テ共同ノ合宿生活ヲ行ハシメマシテ、ソレ等ノコトニ當ツテ居ルノデアリマス、同

時ニ失明軍人ノ教育ト云フコトノ爲ニ、中等部、師範部ト云フ内容ヲ持チマシタル教官ヲ施シテ居ルノデアリマシテ、是ハ只今ハ官立ノ東京盲學校内ノ一部ニ於キマシテ其ノ施設ヲ行ツテ居ルノデアリマス、是ハ必ズシモソレ自體ガ特殊ノ職業教育ト云フコトノミテハゴザイマセヌ、普通教育ト云フヤウナ内容ノ學科モゴザイマス、又本人ノ希望ニ依リマシテハ職業的ナ學科ヲモ教授シテ居ルノデアリマス、例ヘバ簡易ナル工作デアルトカ、或ハ速記デアルトカ、或ハ點字印刷デアルトカ、琴、尺八、其ノ他「マッサージ」等、希望ノ者ニ對シマシテハソレ等ノ學科ト云フヤウニ、各種ノ方面ニ亘リマシテ職業的ナ方面ノ學科ヲモ併セテ授ケテ居ルノデアリマス

各種ノ租稅ノ免除ヲ行ツテ居リマス、又遺族ガ靖國神社ニ合祀祭ノ時ニ參拜スルト云ニハ割引ヲスルト云フヤウナコトモ行ツテ居リマス、又小學校ノ授業料ノ減免ト云フヤウナ恩典ノ途モ聞イテ居リマスシ、又各地方ニ於テ公式ノ式典ヤ會同等ガアル際ニ、遺族ヲ特ニ優遇スル途ヲ講ズルヤウニト云フヤウナコトモ、各地方長官ニ對シテ考慮ヲシテ費フヤウナ通牒モ發シテ居リマス、又遺族ガ生活ニ困難ヲ感ズルヤウナ場合ニハ、軍事扶助法ニ依ツテ各種ノ扶助ヲスル途ヲ講ジテ居リマス、其ノ扶助ノ内容ヲ申上げマスト、生活扶助、生業扶助、或ハ醫療、授產ト云フヤウナコト、又不幸ニシテ亡クナリマシタ時ニハ其ノ埋葬ヲスル、或ハ埋葬料ヲ與ヘルト云フヤウナ途モ講ジテ居リマス、又御承知ノ通り法律ニ於キマシテ相當ノ條件ガアリマスガ、其ノ條件ニ合ハナクトモ社會ノ實際カラシテ、或ハ我國ノ家族制度ノ上カラ見マシテ、法律ニ依ツテ與ヘラレルト同ジヤウナ内容ノ扶助ヲスルノガ適當デアルト云フヤウニ見ラレル場合モアリマスノデ、サウ云フヤウナ場合ニ付キマシテモ、或ハ又其ノ他法律ニ漏

レテ居ルト云フヤウナ實情ニアルモノ等總
テニ對シマシテ、實情ニ合セル爲ニ要スル
費用ト致シマシテ、軍事救護事業助成費ト
云フ費目ノ下ニ十三年一度ニ於テ一千万圓ノ
豫算ヲ計上シテ、ソレニ依ツテ總テ賄ツテ
居ルト云フ狀況ニナツテ居リマス、又遺族
ノ育英ニ付キマシテモ、中等學校ニ入ルト
云フヤウナコトニ對シマシテハ相當心ヲ用
ヒテ、其ノ便宜モ圖ツテ居リマス、又家庭
ノ柱石ヲ失ツテ居ルノデ、各般ノコトニ付
キマシテ不便モ感ジマセウシ、又相談モシ
タイト云フヤウナ狀況モアラウト思フノデ
アリマシテ、是等ニ對シテ謂ハバ身ノ上相
談ト云フヤウナコトノ役ニモ立チ、又色々
法令ニ依ル恩典ヲ受ケルニ付キマシテモ、
手續其ノ他ニ付キマシテモ面倒ヲ見テ上ゲ
ルト云フコトカラ致シテモ必要ト思ヒマス
ノデ、是ハ遺族バカリデハゴザイマセヌガ、
遺族モ含メテ對象ト致シマシテ、サウ云フ
目的ノ下ニ各府縣及ビ市町村ニ軍事援護相
談所ト云フモノヲ設置シ、之ニ要スル費用
ヲ國庫ノ方カラ出シテ、出來ルダケ遺族ノ御世話ヲシタ
ナイヤウニ御世話ヲシ、其ノ戰歿軍人ノ功
モ遺族ガ受ケマシテ後ノ其ノ保存或ハ活用

ミマシタモノガ、結核ニ罹患スル危険率ハ
非常ニ多イノデアリマス、隨ヒマシテ結核
療養所ニ收容致シマス者ノ中ニハ、陸海軍
病院ニ於テ胸膜炎トシテ診斷ヲ受ケタ決定
ノ者ニ對シマシテモ、其ノ一部ハ必要ニ應
ジテ收容ヲ致スコトニ致シテ居ルノデアリ
マス

シテ取扱ヲナスベキモノダト私ハ思ヒマス、サウ云フ意味ニ於テ一層此ノ施設ヲ擴充シテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、今ノ御答辯デハ胸膜炎ハ結核トハ別デアル、胸膜炎ガ進行シタ場合ニ結核トナリ得ル可能性ヲ持ツテ居ルト云フコトデアリマスケレドモ、是ハ全ク同一ノモノデアルト私共ハ認識シテ居ルノデアリマス、是ハ昨年ノ決算委員會ノ記録デアツタト思ヒマスガ、私ハソレヲ讀ンデ居リマス時ニ、陸軍當局ノ答辯ニ對シテ甚ダドウモ好クナイ感じヲ持ツタノデアリマス、サウ云フ胸膜炎ノ人達ハ、一旦除隊ニナツテ歸ツテ自宅療養ヲシテ、癒ル者ハ癒ルシ、癒ラヌ者ハ癒ラヌノデアリマス、斯ウ云フヤウナ極メテ不人情ナ答辯ヲ當局ガシテ居ラレルノヲ見テ、私ハ一人デ憤慨シタモノデアリマスガ、今日郷里ニ歸ツタ人ノ中ニハ、サウ云フ人達ガ相當多トイ思ヒマス、此ノ點ニキマシテハ、一層結核療養所ノ増設ヲ圖ラレテ、廣ク胸膜炎將兵ニ對シマシテモ、同ノデアリマス、ソレヲ放ツテ置ケバ、段々進行シテ結局純粹ノ結核ニナル譯デスカル手當ヲ致シマスルナラバ、是ハ早ク癒ルラ、寧ロ其ノ胸膜炎ト言ハレテ居ル時ニ於

テ、之ヲ全治セシムルト云フコトニ萬全ノ努力ヲ拂ハレルコトガ必要デハナイカト田
フ、ドウゾ此ノ點ヲ十分御考慮下サイマシ
テ、ソレドクノ對策ヲ御立テ戴キタイト田
ヒマス

ソレカラ軍人援護會ト云フモノガ各地ニ
アツテ、政府當局デハ銃後奉公會トシテナ
ヲ改組セラレルコトニナツタト聞イテ居リ
マスガ、此ノ銃後奉公會ノ組織ヲドウ云フ
風ニシテ行カレルノデアルカ、日本全國津々
浦々ニ至ルマデ、殘ラズ此ノ奉公會ニ包含セ
シムルヤウナ會ニ、之ヲ發展セシヌヨウトシ
テ居ラレルノデアリマスカ、サウシテ是ハド
ウ云フ仕事ヲサセヨウトシテ居ラレルノデア
リマスカ、其ノ事ヲ承リタイノデアリマスガ
此ノ機會ニ是マデアリマシタ軍人援護會ノ
大阪ニ於ケル實情ヲ、此處デ極ヌテ簡単ニ
申上ゲテ、今後ソレ等ノ仕事ヲ進メテ貰ヒ
マス御参考ニ供シタイト思ヒマス、事變ガ
始マリマシテ、大阪ニ於キマシテハ全市各
戸残ラズ、各地域毎ニ軍人援護會ガ組織サ
レマシタ、恐らく是ハ日本ニ於テモ大阪ホ
ド徹底シタ所ハナイノデハナイカト私ハ思
ルト、ドウモ色々面白クナイコトガアツタ
ノデアリマス、例へバ經費ノ點ニ於キマシ

テモ、大阪市ガ各援護組合ニ對シテ、其ノ地域ニ於キマスル所得納稅額並ニ戸數等ニ按分致シマシテ、何分カノ金ヲ釀出セシヌル、サウシテ更ニ又區ハ區デ、ソレニ比例ヲ取リマシテ一定ノ金ヲ徵シテ行ク、サウシテ殘ツタモノガ、各組織セラレタ援護組合ノ活動ノ資金ニナルト云フヤウニシタノデアリマシテ、其ノ他ノ事ハ全ク援護組合ノ自由裁量ニ委サレテ居リマシタ、勿論斯ウ云フモノハ自治的ニ、國民ノ誠心誠意カラ生レテ來ルコトガ望マシイコトデハアリマスケレドモ、ソコニヤハリ一つノ統一シタ指導方針ト申シマスカ、全體トシテソレヲ旨ク運用シテ行ク所ノ一つノ方法ガ者慮サレナケレバナラスト思ヒマス、其ノ點ニ非常ニ缺ケタ所ガアツタト思フノデアリマス、或ル地方ニ於キマシテハ一口十錢トシテ、相當強力ニ、各戸ニ對シマシテ、彼處ハ二十口持ツテ吳レ、少クトモ二口ハ持ツテハ三口持ツテ吳レ、此處ハ五十口、此處吳レト云フ風ニシテ、援護組合費ヲ納メサセルヤウニシタノガ大部分デアリマス、所ガ富裕區ニナリマスト、其處ニ居ル富豪ガ一人デ以テ數万圓ノ金ヲ投出シテ、其ノ事ノ爲ニ、組合員カラ組合費ヲ徵收シナイデ、裕カニ援護組合ノ仕事ヲヤツテ行ケル

ト云フヤウナ所ガアリマス、而モ私共見テ居リマスノニ、サウ云フ所ハ主トシテ市ノ中央部デアリマシテ、富豪ノ澤山居住シテ居ル土地デアリマス、而モサウ云フ所デハ割合ニ出征者ノ數ガ少イ、是ガ市ノ周圍部ニ参リマスト、サウ云フ富豪ガ割合ニ少イ、而モ出征者ノ數ハ非常ニ多イ、隨テ周圍部ノ方ニ於キマスル各援護組合ノ負擔ト云フモノハ相當加重セラレテ居ル、サウ云フ思ハシクナイ現象ガ經濟的ニ現ハレテ参ツテ居リマス、ソレデ私ハ是ガ出來マス時ニ、市ニ對シマシテモ、區ニ對シマシテモ進言シタノデアリマス、組合費ハ出來ルダケ或ル一定ノ方針ヲ決メテ平等ニ出サシメテ、負擔ヲ公平ニスルト云フ建前デ、出來ルダケ公平ニ釀出セシメル、サウシテ之ヲ區ナリ市ヘ各援護組合カラ集メテ、必要ニ應ジテ區ナリ市カラ再ビ此ノ援護組合ニ還元スルト云フ方法ヲ執ラナケレバイケナイデハナイカ、サウシナケレバドウモ今ノ富裕地區ト、サウデナイ地區ニ於ケル負擔ガ思ハシク行カヌデハナイカト云フヤウナコトヲト思フノデアリマスガ、未ダニサウ云フ點ガ十分ニ行ツテ居リマセヌ、是ハ全國的ニ進言シテ參ツタノデアリマスガ、遂ニソレハ採用ニナラズニ今日ニ至リマシク所ガ實際ニ於テハ私ガ申上ゲル通リニ、色々トサウ云フ不公平ガ生ジテ來ル、相接シテ居リ

マス所デ、甲ノ方デハ毎月集金シテ居ル、他ノ援護組合デハ隔月ニシテ居ル、或ハ年ニ一回シカ取ツテ居ラナイ所モアツテ、其ノ負擔ニ高低ガアルト云フヤウナコトデアリマシ、更ニモウ一つハ援護ノ手ヲ伸ベマス被援護者ニ及ボス心理的ナ影響ノ問題デアリマスガ、サウ云フ風ニ個々ノ援護組合ガ勝手ニ經濟ヲヤツテ居リマス關係ト致シマシテ、或ル援護組合デハ非常ニ痒イ所ニ手ガ届クヤウニ世話ヲスル、或ル援護組合デハソレニ比べテドウモ十分デハナイ、恐ラク地域ガ相接シテ居ル譯ニアリマスカラ、遺族達ガ色々ナ場合ニ於テ相語リ合フ機會ガアリマセウ、サウスルト甲ノ地域ニ於テハスウ云フコトヲヤツテ居ルガ、乙ノ方デハヤラヌ、乙デハスウ云フコトヲヤツタガ、甲ノ地域デハヤツテ居ラスト云フヤウナコトガアリマシテ、援護ノ上ニモ厚薄ガ生ジテ來ル、サウ云コトカラ來ル心理的ナ影響ト云ブモノモ大分出來テ居ルノデアリマス、隨テ其ノ大多數ハ此ノ事變ニ於ケル軍事ノ援護ト云又我國ノ從來カラノ問題ト致シマシテ、又建國ノ本義デアル所ノ國民皆兵ト云フ此ノコトヲ目標ニシテ居リマス、併シナガラ乙デハスウ云フコトヲヤツタガ、甲ノ地域ス、是ハ原則ト致シマシテハ、各町村ニ全部出來テ居リマセヌ所ハ、サウ云フモノヲ成ベク作ツテ貰ヒタイト云フ趣旨デゴザイマサウ云フモノガ出來ルヤウニ指導シテ行キタイ、併シナガラ只今御話ノ大阪トカ、其ノ他六大都市ハ一律ニ町村並ミニ行キマセヌカラ、ソレハ或ハ學區每ニスルトカ、或ハ行政區ニスルトカ、色々分ケ方ハアラウト思ヒマス、又ソレハ其ノ都市ノ實情ニ合フヤウナ單位デヤル考デアリマス、ソレカラ内容ハドウ云フコトカト云フ御尋ガアリマシタガ、只今申シマシタ兵役義務心ノ昂揚ラ圖リ、或ハ隣保相扶ノ道義心ノ振作ラ

ニ介入シテ、全國ニ之ヲ普及シ、何ヲ發展ノ目標トセラレルノデアルカ、其ノ活動ノ内容ハドウ云フ風ニシテ行カレルノデアルカ、經濟ノ方面ハドウ云フ風ニシテ行カレルノデアリマセウカ、其ノ全貌ニ付テ御伺致シマス
○新居政府委員、銃後奉公會ニ付テノ御尋寸申上ゲマシタガ、各地方ニ軍事援護團體ト云フ所ニ著眼致シ、名前モ銃後奉公會ト前カラアルモノモアリマシ、事變後ニモ出来ルコトガ、非常ニ宜イコトデハナイ力目標トシテ居ル所ヲ申上ゲマスト、先程一ト云フ所ニ著眼致シ、名前モ銃後奉公會ト致シマシタ、此ノ使命ヲ達成セシムルヤウハソレニ比ベテドウモ十分デハナイ、恐ラク地域ガ相接シテ居ル譯ニアリマスカラ、遺族達ガ色々ナ場合ニ於テ相語リ合フ機會ガアリマセウ、サウスルト甲ノ地域ニ於テハスウ云フコトヲヤツテ居ルガ、乙ノ方デハヤラヌ、乙デハスウ云フコトヲヤツタガ、甲ノ地域デハヤツテ居ラスト云フヤウナコトガアリマシテ、援護ノ上ニモ厚薄ガ生ジテ來ル、サウ云コトカラ來ル心理的ナ影響ト云ブモノモ大分出來テ居ルノデアリマス、隨テ其ノ大多數ハ此ノ事變ニ於ケル軍事ノ援護ト云又我國ノ從來カラノ問題ト致シマシテ、又建國ノ本義デアル所ノ國民皆兵ト云フ此ノコトヲ目標ニシテ居リマス、併シナガラ乙デハスウ云フコトヲヤツタガ、甲ノ地域ス、是ハ原則ト致シマシテハ、各町村ニ全部出來テ居リマセヌ所ハ、サウ云フモノヲ成ベク作ツテ貰ヒタイト云フ趣旨デゴザイマサウ云フモノガ出來ルヤウニ指導シテ行キタイ、併シナガラ只今御話ノ大阪トカ、其ノ他六大都市ハ一律ニ町村並ミニ行キマセヌカラ、ソレハ或ハ學區每ニスルトカ、或ハ行政區ニスルトカ、色々分ケ方ハアラウト思ヒマス、又ソレハ其ノ都市ノ實情ニ合フヤウナ單位デヤル考デアリマス、ソレカラ内容ハドウ云フコトカト云フ御尋ガアリマシタガ、只今申シマシタ兵役義務心ノ昂揚ラ圖リ、或ハ隣保相扶ノ道義心ノ振作ラ

マシテハ兵役義務ノ執行ヲ容易ナラシムル方面ノ使命ヲ持チ、一面ニ於キマシテハ隣保相扶ノ美風ノ發露デアル軍事援護ノ使命ヲ達成セシムルト云フ、兩方ノ目的ヲ持ツタ團體ト致シマス、隨テ其ノ團體ノ存立ハ單ニ事變中ノミデハナク、平戰兩時ヲ通じテ、舉鄉一致ノ麗ハシイ團體ガ全國ニ汎ク達ガ色々ナ場合ニ於テ相語リ合フ機會ガアリマセウ、サウスルト甲ノ地域ニ於テハスウ云フコトヲヤツテ居ルガ、乙ノ方デハヤラヌ、乙デハスウ云フコトヲヤツタガ、甲ノ地域デハヤツテ居ラスト云フヤウナコトガアリマシテ、援護ノ上ニモ厚薄ガ生ジテ來ル、サウ云コトカラ來ル心理的ナ影響ト云ブモノモ大分出來テ居ルノデアリマス、隨テ其ノ大多數ハ此ノ事變ニ於ケル軍事ノ援護ト云又我國ノ從來カラノ問題ト致シマシテ、又建國ノ本義デアル所ノ國民皆兵ト云フ此ノコトヲ目標ニシテ居リマス、併シナガラ乙デハスウ云フコトヲヤツタガ、甲ノ地域ス、是ハ原則ト致シマシテハ、各町村ニ全部出來テ居リマセヌ所ハ、サウ云フモノヲ成ベク作ツテ貰ヒタイト云フ趣旨デゴザイマサウ云フモノガ出來ルヤウニ指導シテ行キタイ、併シナガラ只今御話ノ大阪トカ、其ノ他六大都市ハ一律ニ町村並ミニ行キマセヌカラ、ソレハ或ハ學區每ニスルトカ、或ハ行政區ニスルトカ、色々分ケ方ハアラウト思ヒマス、又ソレハ其ノ都市ノ實情ニ合フヤウナ單位デヤル考デアリマス、ソレカラ内容ハドウ云フコトカト云フ御尋ガアリマシタガ、只今申シマシタ兵役義務心ノ昂揚ラ圖リ、或ハ隣保相扶ノ道義心ノ振作ラ

圖リ、或ハ平素カラ兵役義務ノ執行ノ準備ヲスル、或ハ現役又ハ應召軍人若クハ傷痍軍人竝ニ其ノ遺族家族ノ援護ヲスル、ソレカラ勞力奉仕其ノ他家事ノ援助ヲスル、或ハ不幸ガアリマシタ際ノ弔問、慰藉或ハ後援、或ハ身上、家事ノ相談ニ與リ、或ハ軍事援護ニ事援護思想ノ普及徹底等、苟モ軍事援護ニ關スルコトハ、其ノ事柄ヲヤル基本ガ國力ラ行クコトデアリマシテモ、或ハ府縣等ノ色々團體カラ行クコトデアリマシテモ、此々ナ團體カラ行クコト云フ仕組ニシタ一體トナツテソコヘ行クト云フ仕組ニシタイ、而モソレニハ譽鄉一致ノ團結心ヲ常ニ起サシメルヤウナ仕組ニシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ先程ノ經理ノ方面デゴザイマスガ、會費、補助金、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充テルヤウニナツルノデアリマス、ソレデ近所トノ振合ヒト申シテ居リマス、ソレデ近所トノ問題デゴザイマスカ、サウ云フ方面ノ問題デゴザイマスガ、是ハ先程モ御話ガアリマシタ通り、上カラ強制的ニヤルノデナク、本當ニ美ハシイ心持ノ發露トシテ、下カラ盛リ上ル其ノ產婆役ヲ此方デシテ行クノガ適當デアラウト思ヒマスノデ、會費モ其ノ團體自身ノ實情ニ應ジテ決メテ行ツカラ宜イデハナイカト思ヒマス、併シ舉郷一致ノ精神ヲ害スル

ヤウナ會費ノ徵收ノ仕方ハ差控ヘテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウニシテ居リマス、又其ノ地方ニ富豪ガ多イトカ、或ハ割合ニ下層階級ノ人ガ多イトカ云フ點カラ致シマシテ、負擔力ニ相違ナル點ニ對シテハ、マダ現實的ニハ何モ行ツテ居リマセヌガ、將來町村ノ補助トカ、府縣ノ補助トカ、サウ云フ點デ「バランス」ヲ取ル途ヲ考ヘナクテハナラヌデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ現實ニ援護スル内容ガ隣リノ町村ト違フコトハ、私共モ往々耳ニ致シタノデゴザイマシテ、是ハ下カラ盛り上ゲタ團體自身ノ心ノ發露トシテヤル以上ハ、ドウモ違ヒノアリゴトハ已ムヲ得マセヌ、併シ其ノ間ニ餘近所話ヲサレルヤウナ時ニ非常ニ違ヒガアルニ違ヒガアツテ、先程ノ御話ノヤウニ、リナ達ヒガアツテ、是ハ精神的ニモ却テ害ヲ成スコトモア近所話ヲサレルヤウナ時ニ非常ニ違ヒガアル、是ハ傷病年金ヲ普通恩給項症ニ改正シテ遺族扶助料ヲ附與シテ貰ヒタイガ、政府ニ其ノ御考ガナイカドウカ、其ノニ點デアリマス、即チ第一ハ退職後三年以内ニ病症ガ増悪致シマシタモノニ付テハ傷病賜金ガ下賜セラレマスケレドモ、三年經過以後アリマス、即チ第一ハ退職後三年以内ニ病症ガ増悪致シマシタモノニ付テハ傷病賜金が下賜セラレマスケレドモ、三年經過以後アリマス、然ルニ傷病年金ノ受給者ノ大部分ハマス、然ルニ傷病年金ノ受給者ノ大部分ハ兵役ノ義務ヲ遂行致シマシテ、戰地ニ於テ惡戰苦鬪ヲ續ケ、爲ニ傷病ヲ得テ不具者トナツタヤウナ國家ノ犠牲デアル、然ルニ一方ハ扶助料ヲ附與セラレテ、一方ハ扶助料ヲ缺クト思フノデアリマスガ、政府ハ是等ヲ改正サレル御考ガナイカドウカ、是ハ先程申シマシタ通り、傷痍軍人代表者ノラレタ者ナルニ拘ラズ、傷病賜金ノ恩恵ニ

○高橋委員長 宜シウゴザイマスカ——齋
ヤウニシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、段々此ノ目的ニ向ヒマシテ遺憾ノナク注意シテ、サウ云フコトノナイヤウニ注意スルトカ、色々苦心ヲシテ居ルノデアリマス、病ヲ受ケタル者デアツテ、其ノ後傷病ガ増悪シテ、陸海軍ノ軍醫官ノ診斷ノ結果、佩章者ト指定セラレテ軍人傷痍記章ヲ授與セラレタ者ナルニ拘ラズ、傷病賜金ノ恩恵ニ浴シナイ者方多數ニアルノデアリマス、是居ルノデアリマスカラ、政府委員ハモウ疾

藤君

○齋藤委員 私恩給法ニ付キマシテ一二點御伺シタイノデアリマス、ソレハ既ニ政府委員ハ御承知デアリマスガ、傷痍軍人代表者方吾々ニ陳情シテ參ツタ事柄デアリマシテ、其ノ内容ハ、先年貴族院デモ衆議院デモ請願ガ採擇セラレタ事項デアリマス、即チ第一ハ恩給法第四十六條ノ一中「三年以内」ヲ省除シ、無期限ニ改正セラレタインノデアルガ、政府ハサウ云フ御考ハナイカドウシテ、第二ハ傷病年金ヲ普通恩給項症ニ改正レタイ、是ハ御承知ノ通リニ只今デハ遺族扶助料ガナイノデアリマス、然ルニ普通恩給ノ受給者ハ、奉職中相當ノ俸給ヲ受ケテ、一家ノ生計ヲ保持シテ來タノデアリマス、退職後ハ恩給ヲ支給サレマシテ、且ツ又遺族扶助料モ附與セラレルノデアリマス、然ルニ傷病年金ノ受給者ノ大部分ハ兵役ノ義務ヲ遂行致シマシテ、戰地ニ於テ惡戰苦鬪ヲ續ケ、爲ニ傷病ヲ得テ不具者トナツタヤウナ國家ノ犠牲デアル、然ルニ一方ハ扶助料ヲ附與セラレテ、一方ハ扶助料ヲ缺クト思フノデアリマスガ、政府ハ是等ヲ改正サレル御考ガナイカドウカ、是ハ先程申シマシタ通り、傷痍軍人代表者ノラレタ者ナルニ拘ラズ、傷病賜金ノ恩恵ニ浴シナイ者方多數ニアルノデアリマス、是居ルノデアリマスカラ、政府委員ハモウ疾

等ハ恩給法ニ「三年以内」ト規定サレテアリマスカラ、其ノ後ニ増悪シタ場合ニ於テモ其ノ恩典ニ浴スルゴトガ出來ナイノデアリマス、政府ハ是等ヲ改正サレル御意思ガアリマスカドウカ

ニ御研究ニナツタコトト思フ、如何ナル
點デ實現ガ出來ナカツタカ、其ノ實現ノ出
來ナカツタ理由ヲ一つ排除シテ、將來ハ之
ヲ實現スル御考デアルカドウカ、此ノ際出
來ルダケドウゾ詳細ニ御答ヲ願ツテ、ソレ
ヲ全國ノ傷痍軍人ニ傳ヘタイト考ヘマス
○糧員政府委員 只今ノ御尋二點ノ中、先
ヅ第一ニ恩給法第四十六條ノ二ニ規定シテ
アリスマ所ノ「三年内」ト云フ制限ヲ除去スル
カドウカト云フ點ニ付テノコトヲ御答致シ
マス、是ハ只今齋藤サンカラ仰シヤラレマ
シ通リニ、屢々請願ノ形ヲ以テ現ハレテ來
マシタ事項デアリマス、政府方面ニ於キマ
シテモ斯ウ云フ風ナ希望ガアルコトヲ能ク
存ジテ居ル譯デアリマス、私モ亦政府委員
トシテ之ニ對シマシテ數回答辯モ致シマシ
タヤウナ次第デアリマスガ、元々此ノ制限
ヲ置キマシタノハ、此ノ四十六條ノ二ニ依
ツテ與ヘマス所ノ傷病年金ノ基礎ニナル傷
病ノ程度ト云フモノハ、上ノ方ハ可ナリ低
ガ高イノデスケレドモ、下ノ方ハ可ナリ低
イノデゴザイマス、ソレデ改正前ニ於キマ
シテハ、之ニ對シテハ一時金ヲ與ヘテ居ツ
タニ過ギナカツタノデスガ、何時モ問題ニ
ナルノハ、上ノ增加恩給ヲ與ヘル程度ノ所
ト、ソレカラソレニ直グクツ付イタ所ノ傷

病ノ程度ト、ドノ位達フカト云フコトガ問
題視サレタ譯ナノデアリマス、總テノ事柄
ニ付テ境目ニ立チマスト云フト、右ニ入ル
ベキカ左ニ入ルベキカ、是ハ非常ニ分リニ
クイ譯デアリマスガ、此ノ傷病ノ程度ニ付
タノデモサウ云フコトガ屢々問題ニナツ
下ゲテシマツテスレバ、其ノ問題ハ解消ス
ルデヤナイカト云フヤウナコトモアリマ
シテ、色々請願モアリ陳情モアリマシタ結
果、此ノ傷病年金ト云フモノヲ作リマシタ、
吾々ハ公務傷病者ニ對シマシテ、又死亡者
來ルダケノ財源振向ケヲヤリ、優遇シテ行
クト云フコトヲ考ヘテ居リマシタ、又常ニ
ルデアリマス條文^デ御覽戴ケバ分リマスル
ガ——少シ込入ツテ居リマスガ、第四十六
條ノ二ノ二項ト云フモノニ「前條第二項及
ゲテアリマス條文^デ御覽戴ケバ分リマスル
シマシタ、ケレドモ是ダケデ打切レバ、極
度ニ或ル程度ニ達シタ者ガ而モ尙ホ拔
ケテシマフト云フ虞ガアリマスノデ、差上
ラズ、其ノ財源ヲ持ツテ參リマシテ、傷病
者ノ恩給又遺族ノ扶助料ト云フ方面ニハ出
タノデアリマス、ソレナラバ可ナリ程度ヲ
カドウカト云フコトヲ御答致シ
マス、是ハ只今齋藤サンカラ仰シヤラレマ
シ通リニ、屢々請願ノ形ヲ以テ現ハレテ來
マシタ事項デアリマス、政府方面ニ於キマ
シテモ斯ウ云フ風ナ希望ガアルコトヲ能ク
存ジテ居ル譯デアリマス、私モ亦政府委員
トシテ之ニ對シマシテ數回答辯モ致シマシ
タヤウナ次第デアリマスガ、元々此ノ制限
ヲ置キマシタノハ、此ノ四十六條ノ二ニ依
ツテ與ヘマス所ノ傷病年金ノ基礎ニナル傷
病ノ程度ト云フモノハ、上ノ方ハ可ナリ低
ガ高イノデスケレドモ、下ノ方ハ可ナリ低
イノデゴザイマス、ソレデ改正前ニ於キマ
シテハ、之ニ對シテハ一時金ヲ與ヘテ居ツ
タニ過ギナカツタノデスガ、何時モ問題ニ
ナルノハ、上ノ增加恩給ヲ與ヘル程度ノ所
ト、ソレカラソレニ直グクツ付イタ所ノ傷

病ノ程度ト、ドノ位達フカト云フコトガ問
題視サレタ譯ナノデアリマス、總テノ事柄
ニ付テ境目ニ立チマスト云フト、右ニ入ル
ベキカ左ニ入ルベキカ、是ハ非常ニ分リニ
クイ譯デアリマスガ、此ノ傷病ノ程度ニ付
タノデモサウ云フコトガ屢々問題ニナツ
下ゲテシマツテスレバ、其ノ問題ハ解消ス
ルデヤナイカト云フヤウナコトモアリマ
シテ、色々請願モアリ陳情モアリマシタ結
果、此ノ傷病年金ト云フモノヲ作リマシタ、
吾々ハ公務傷病者ニ對シマシテ、又死亡者
來ルダケノ財源振向ケヲヤリ、優遇シテ行
クト云フコトヲ考ヘテ居リマシタ、又常ニ
ルデアリマス條文^デ御覽戴ケバ分リマスル
ガ——少シ込入ツテ居リマスガ、第四十六
條ノ二ノ二項ト云フモノニ「前條第二項及
ゲテアリマス條文^デ御覽戴ケバ分リマスル
シマシタ、ケレドモ是ダケデ打切レバ、極
度ニ或ル程度ニ達シタ者ガ而モ尙ホ拔
ケテシマフト云フ虞ガアリマスノデ、差上
ラズ、其ノ財源ヲ持ツテ參リマシテ、傷病
者ノ恩給又遺族ノ扶助料ト云フ方面ニハ出
タノデアリマス、ソレナラバ可ナリ程度ヲ
カドウカト云フコトヲ御答致シ
マス、是ハ只今齋藤サンカラ仰シヤラレマ
シ通リニ、屢々請願ノ形ヲ以テ現ハレテ來
マシタ事項デアリマス、政府方面ニ於キマ
シテモ斯ウ云フ風ナ希望ガアルコトヲ能ク
存ジテ居ル譯デアリマス、私モ亦政府委員
トシテ之ニ對シマシテ數回答辯モ致シマシ
タヤウナ次第デアリマスガ、元々此ノ制限
ヲ置キマシタノハ、此ノ四十六條ノ二ニ依
ツテ與ヘマス所ノ傷病年金ノ基礎ニナル傷
病ノ程度ト云フモノハ、上ノ方ハ可ナリ低
ガ高イノデスケレドモ、下ノ方ハ可ナリ低
イノデゴザイマス、ソレデ改正前ニ於キマ
シテハ、之ニ對シテハ一時金ヲ與ヘテ居ツ
タニ過ギナカツタノデスガ、何時モ問題ニ
ナルノハ、上ノ增加恩給ヲ與ヘル程度ノ所
ト、ソレカラソレニ直グクツ付イタ所ノ傷

病ノ程度ト、ドノ位達フカト云フコトガ問
題視サレタ譯ナノデアリマス、總テノ事柄
ニ付テ境目ニ立チマスト云フト、右ニ入ル
ベキカ左ニ入ルベキカ、是ハ非常ニ分リニ
クイ譯デアリマスガ、此ノ傷病ノ程度ニ付
タノデモサウ云フコトガ屢々問題ニナツ
下ゲテシマツテスレバ、其ノ問題ハ解消ス
ルデヤナイカト云フヤウナコトモアリマ
シテ、色々請願モアリ陳情モアリマシタ結
果、此ノ傷病年金ト云フモノヲ作リマシタ、
吾々ハ公務傷病者ニ對シマシテ、又死亡者
來ルダケノ財源振向ケヲヤリ、優遇シテ行
クト云フコトヲ考ヘテ居リマシタ、又常ニ
ルデアリマス條文^デ御覽戴ケバ分リマスル
ガ——少シ込入ツテ居リマスガ、第四十六
條ノ二ノ二項ト云フモノニ「前條第二項及
ゲテアリマス條文^デ御覽戴ケバ分リマスル
シマシタ、ケレドモ是ダケデ打切レバ、極
度ニ或ル程度ニ達シタ者ガ而モ尙ホ拔
ケテシマフト云フ虞ガアリマスノデ、差上
ラズ、其ノ財源ヲ持ツテ參リマシテ、傷病
者ノ恩給又遺族ノ扶助料ト云フ方面ニハ出
タノデアリマス、ソレナラバ可ナリ程度ヲ
カドウカト云フコトヲ御答致シ
マス、是ハ只今齋藤サンカラ仰シヤラレマ
シ通リニ、屢々請願ノ形ヲ以テ現ハレテ來
マシタ事項デアリマス、政府方面ニ於キマ
シテモ斯ウ云フ風ナ希望ガアルコトヲ能ク
存ジテ居ル譯デアリマス、私モ亦政府委員
トシテ之ニ對シマシテ數回答辯モ致シマシ
タヤウナ次第デアリマスガ、元々此ノ制限
ヲ置キマシタノハ、此ノ四十六條ノ二ニ依
ツテ與ヘマス所ノ傷病年金ノ基礎ニナル傷
病ノ程度ト云フモノハ、上ノ方ハ可ナリ低
ガ高イノデスケレドモ、下ノ方ハ可ナリ低
イノデゴザイマス、ソレデ改正前ニ於キマ
シテハ、之ニ對シテハ一時金ヲ與ヘテ居ツ
タニ過ギナカツタノデスガ、何時モ問題ニ
ナルノハ、上ノ增加恩給ヲ與ヘル程度ノ所
ト、ソレカラソレニ直グクツ付イタ所ノ傷

病ノ程度ト、ドノ位達フカト云フコトガ問
題視サレタ譯ナノデアリマス、總テノ事柄
ニ付テ境目ニ立チマスト云フト、右ニ入ル
ベキカ左ニ入ルベキカ、是ハ非常ニ分リニ
クイ譯デアリマスガ、此ノ傷病ノ程度ニ付
タノデモサウ云フコトガ屢々問題ニナツ
下ゲテシマツテスレバ、其ノ問題ハ解消ス
ルデヤナイカト云フヤウナコトモアリマ
シテ、色々請願モアリ陳情モアリマシタ結
果、此ノ傷病年金ト云フモノヲ作リマシタ、
吾々ハ公務傷病者ニ對シマシテ、又死亡者
來ルダケノ財源振向ケヲヤリ、優遇シテ行
クト云フコトヲ考ヘテ居リマシタ、又常ニ
ルデアリマス條文^デ御覽戴ケバ分リマスル
ガ——少シ込入ツテ居リマスガ、第四十六
條ノ二ノ二項ト云フモノニ「前條第二項及
ゲテアリマス條文^デ御覽戴ケバ分リマスル
シマシタ、ケレドモ是ダケデ打切レバ、極
度ニ或ル程度ニ達シタ者ガ而モ尙ホ拔
ケテシマフト云フ虞ガアリマスノデ、差上
ラズ、其ノ財源ヲ持ツテ參リマシテ、傷病
者ノ恩給又遺族ノ扶助料ト云フ方面ニハ出
タノデアリマス、ソレナラバ可ナリ程度ヲ
カドウカト云フコトヲ御答致シ
マス、是ハ只今齋藤サンカラ仰シヤラレマ
シ通リニ、屢々請願ノ形ヲ以テ現ハレテ來
マシタ事項デアリマス、政府方面ニ於キマ
シテモ斯ウ云フ風ナ希望ガアルコトヲ能ク
存ジテ居ル譯デアリマス、私モ亦政府委員
トシテ之ニ對シマシテ數回答辯モ致シマシ
タヤウナ次第デアリマスガ、元々此ノ制限
ヲ置キマシタノハ、此ノ四十六條ノ二ニ依
ツテ與ヘマス所ノ傷病年金ノ基礎ニナル傷
病ノ程度ト云フモノハ、上ノ方ハ可ナリ低
ガ高イノデスケレドモ、下ノ方ハ可ナリ低
イノデゴザイマス、ソレデ改正前ニ於キマ
シテハ、之ニ對シテハ一時金ヲ與ヘテ居ツ
タニ過ギナカツタノデスガ、何時モ問題ニ
ナルノハ、上ノ增加恩給ヲ與ヘル程度ノ所
ト、ソレカラソレニ直グクツ付イタ所ノ傷

フコトデ救濟ノ途ハ開イテアルノデアリマス、特ニサウ云フ手續ヲ經ナイデ一應行ケルモノハ、ヤハリ或ル程度ノ短カイ期間ヲ切ツテ置キマセヌト、他ノ方ノ事情ノ介入ト云フコトハ中々分リニクイ、程度ガ高ケレバ其ノ點ハハツキリ致シマスケレドモ、程度ノ低イモノニナルト、非常ニ分リニクイ、低ケレバ低イ程分リニクイ、傷痍ノ方ハマダ／＼分リマス、所ガ疾病ノ程度ノ低イモノニナルト殆ド分ラナイ、サウ云フヤウナ事情デ或ル程度デ打切ラナケレバナラナイ、顯著ニ公務ニ基因シテ居ルノハ、今言ツタヤウニ十分ニ救フ途ガ付イテ居ル譯デアリマス、サウ云フヤウナ事情デ、現在之ヲ撤廢スルトカ、更ニ延長スルトカ云フ必要ハ認メナイノデアリマス、初々ハ是は一年デアリマシタ、一年ダト軍ノ方デ除院ナドヲスルヤウナ場合ニ、除隊間際ニ病院ヘ入レテ居ルト云フヤウナ關係ガアツテ、サウ云フ方面カラ困ル事情ガアリマシタガ、三年ニ延セバ大體ニ於テ問題ナイト云フヤウナ所デ、少シ長目デアルケレドモ、三年マデ延シタヤウナ譯デアリマス、今日之ヲ改正スル必要モ感ジマセヌシ、又改正致シマシテハ、サウ云フヤウナ譯デ弊害ヲ醸シテ困ルト思フノデアリマス、唯此ノ陳情ノ申

ニハサウ云フコトガ現ハレテ居リマセヌケレドモ、其ノ改正前ノ昔ノ所謂無償廢兵ト稱セラレルノハ、一時金ヲ貰ツタリ或ハ貰ハ云フモノガアリマシタ、其ノ無償廢兵ト稱ノ部分が重ツテ來タトガアル、其十六條ノ二ノ勅令デ決メタ程度、即チ傷病年金ヲヤルベキ傷病程度ニ現在達シテ居ラナイノハ、此ノ改正デ審査ノ結果程度ニ達シテ居ラナイノデスカラ、傷病年金ヲヤレナイト言ツテ撥ネラレタ部分ガアル、其ノ程度ヲ審査スルトキニ於キマシテモ、恩給局ニ於キマシテハ非常ニ寛大ナ標準ヲ以テ、普通ノ場合ニ測定スルヨリカ一段モ三段モ下ゲテノ標準デ、事實ハ皆傷病年金ニ入り得ルヤウニ考ヘテ見マシタガ、ソレデモ尙ホ到底入レラレナイト云フヤウナ低イ程度ノ人デ、尙ホ無償廢兵ナリト自ラ稱シテ居ツタ者ガ相當アル、ソレハ到底此ノ年金ヲヤルコトニ裁定ヲスルコトニ適シナイト云フ譯デ、是ハ已ムヲ得ナイト云フノ度ト云フ譯デ、是ハ已ムヲ得ナイト云フノ度ノ傷病年金ノ一番上ノ方デ、元ハ一時金ヲ貰ツタニ過ギナインデアリマス、殊ニ其ノ傷病年金ノ方ノ傷病程度ハ餘程低イノデハ廢兵ノ方ヘ繰入レマシタカラ、残ツタ傷

ニハサウ云フコトガ現ハレテ居リマセヌケレドモ、其ノ改正前ノ昔ノ所謂無償廢兵ト稱セラレルノハ、一時金ヲ貰ツタリ或ハ貰ハ云フモノガアリマシタ、其ノ無償廢兵ト稱ノ部分が重ツテ來タトガアル、其十六條ノ二ノ勅令デ決メタ程度、即チ傷病年金ヲヤルベキ傷病程度ニ現在達シテ居ラナイノハ、此ノ改正デ審査ノ結果程度ニ達シテ居ラナイノデスカラ、傷病年金ヲヤレナイト言ツテ撥ネラレタ部分ガアル、其ノ程度ヲ審査スルトキニ於キマシテモ、恩給局ニ於キマシテハ非常ニ寛大ナ標準ヲ以テ、普通ノ場合ニ測定スルヨリカ一段モ三段モ下ゲテノ標準デ、事實ハ皆傷病年金ニ入り得ルヤウニ考ヘテ見マシタガ、ソレデモ専ホ到底入レラレナイト云フヤウナ低イ程度ノ人デ、専ホ無償廢兵ナリト自ラ稱シテ居ツタ者ガ相當アル、ソレハ到底此ノ年金ヲヤルコトニ裁定ヲスルコトニ適シナイト云フ譯デ、是ハ已ムヲ得ナイト云フノ度ノ傷病年金ノ方ノ傷病程度ハ餘程低イノデハ廢兵ノ方ヘ繰入レマシタカラ、残ツタ傷

ニハサウ云フコトガ現ハレテ居リマセヌケレドモ、其ノ改正前ノ昔ノ所謂無償廢兵ト稱セラレル所ノ人々ノ遺族ニ、唯其ノ傷病ダケヲ理アルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマスアルト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌカラ、目下ノ所デハ此ノ程度ヲ以テ相當デ度ヲ下ゲマシテ、昭和八年ノ改正ノトキニハ廢兵ノ方ヘ繰入レマシタカラ、残ツタ傷病年金ヲ貰フ方ノ傷病程度ハ餘程低イノデハ廢兵ト稱セラレル者ト比較シテ見マスト、ズット其ノ能ガ、三年經過後ニ陸海軍軍醫ノ診斷ノ結果

増悪シタ、斯ウ云フコトデ傷痍軍人記章ヲ

授與サレテ居ル事實ガアル、是ハ中々明瞭

ヲ缺ク、戰傷ハ分ツテモ疾病ニ於テハ特ニ

分ラヌト云フ御話デスガ、併シ斯ウ云フ傷

痍軍人記章ヲ増悪ノ結果授與サレタ事實ガ

アツテ見レバ、此ノ分ダケハ分ツタモノガ

アツタラウト想像サレマス、第二ノ點ハ成

程御説ノ通り戰傷ノ程度ガ低イ者デハアリ

マスケレドモ、苟モ國家ノ爲ニ戰線ニ立チ

マシテ負傷ヲシタ者デアリマスカラ、ソレ

ガ先程厚生省ノ人ノ御話ガアリマシタケレ

ドモ、他ニ適當ナ職業デモ得マシテ生活ノ

安定ヲ得ルコトガ出來マスレバ、實際上サ

ウ大シタコトモナカラウト思フノデアリ

マスケレドモ、如何ニ其ノ戰傷或ハ疾病ノ

程度ガ輕微デアツテモ、在來自分ノ執リ來

ツタ所ノ生業ヲ再びスルコトガ出來ス、其

ノ結果遺族ガ困ルト云フヤウナコトガナキ

ニシモアラズ、左様ナコトモ考ヘラレルノ

デアリマスカラ、ドウカ政府ニ於キマシテ

モ、此ノ二點ニ付キマシテハ更ニ研究、御

考慮ヲ願ツテ置キマス

○権貴政府委員 將來ニ於キマシテノ研究

ニ當リマシテ、今ノ御言葉ノ點ハ能ク念頭

ニ置キマシテ、考究ヲ致シタイト存ジマス

○高橋委員長 是デ質疑ヲ終了シテ宜シウ

ゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○高橋委員長 ソレデハ御異議ナシト認メ
マシテ、本案ニ對スル質疑ハ是デ終局致シ
マシタ、本日ハ是ニテ散會致シマス、次會
ハ公報ヲ以テ御通知申上げマス

午後六時十二分散會

昭和十四年三月十日印刷

昭和十四年三月十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局